

Wax-Up · Abutment / ワックスアップ・アバットメント

- *Screw retain Abutment Scan / スクリューリテイン アバットメント スキャン*
- *Screw retain Abutment Design / スクリューリテイン アバットメント デザイン*



Wax-Up · Abutment / ワックスアップ・アバットメント

- Screw retain Abutment Scan / スクリューリテイン アバットメント スキャン





修復物のデザイン

スキャンから模型を製作

模型のスキャンと送信

症例のインポート

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

以下情報を各項目に入力し、【次へ】をクリックします

患者：(必須項目)
患者名を入力します

症例ID：
患者毎に割り当てられたカルテNo等を入力します(※省略可)

期日：
入力した年月日から、ソフトウェアが期日を計算します(※省略可)

歯科医院：郵便番号(必須項目)
歯科医院名を入力いたします。

歯科技工所または歯科医院：
歯科技工所または歯科医院名を入力いたします(※省略可)

症例を追加 × キャンセル

症例情報

患者 (必須項目)

症例ID

期日
25 3月 2019

歯科医の情報

歯科医名 (必須項目) 郵便番号 (必須項目)

歯科技工所または歯科医院

● ○ 次へ >

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

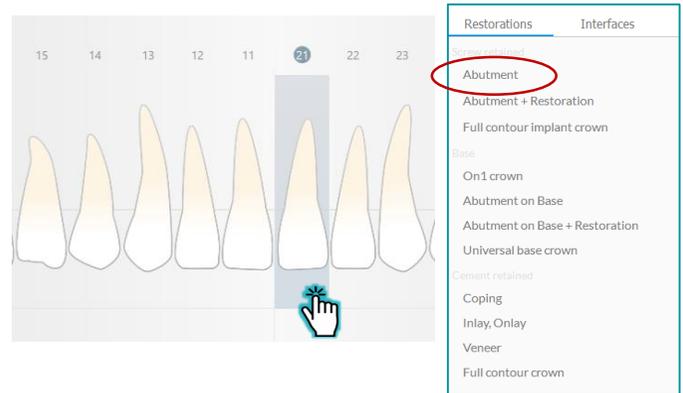
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【Abutment】 を選択します



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

Scan

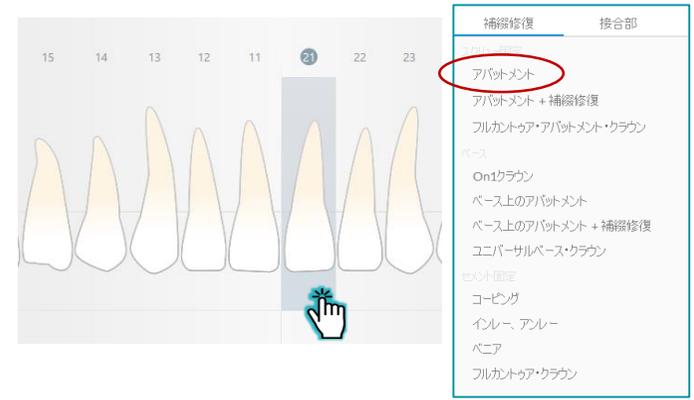
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【アバットメント】 を選択します



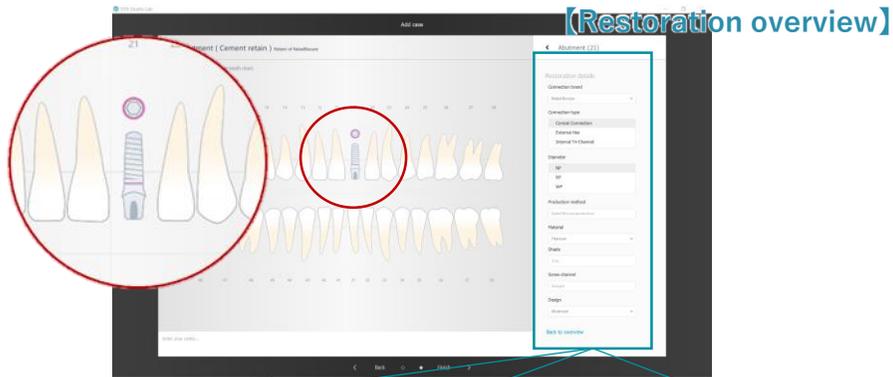
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

インプラントを選択します

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

製作方法、材質、色調を選択いたします

Screw channel
Straight

Design
Abutment

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン

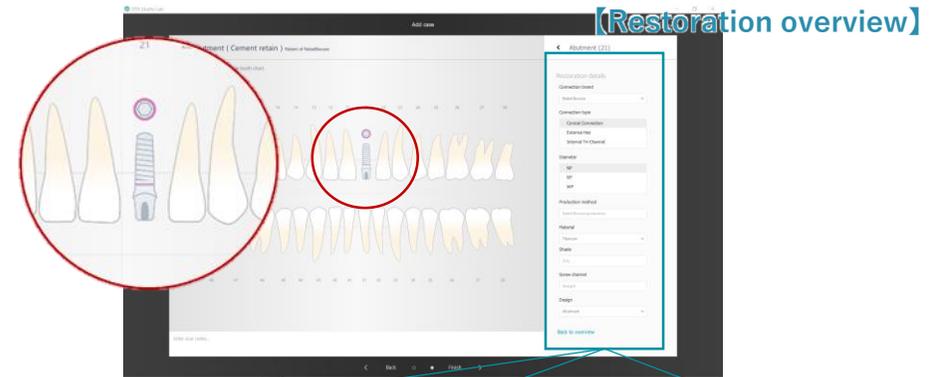


Genion 2 Scanner

Scan

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

インプラントを選択します

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

製作方法、材質、色調を選択いたします

スクリーチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

Screw channel
Straight

Design
Abutment

[Back to overview](#)

- Connection brand
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- Connection type
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Diameter
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Production method
 - ・ NobelBiocare Production center only
- Material
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- Shade
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- Screw channel
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- Design
 - ・ Abutment (Cement retain)
 - ・ Screw retain crown

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

スクリューチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

- コネクションのメーカー名
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 直径
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 製造方法
 - ・ NobelBiocare Production center only
- 材質
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- シェード
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- スクリュー・チャンネル
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- デザイン
 - ・ アバットメント (セメント固定)
 - ・ スクリュー固定によるクラウン

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

Restoration details

Connection brand

Nobel Biocare

Connection type

Conical Connection

External Hex

Internal Tri-Channel

Diameter

NP

RP

WP

Production method

Nobel Biocare production

Material

Zirconia

Shade

Medium

Screw channel

Straight

Design

Screw retained crown

[Back to overview](#)

例：(本項での手順)
ZirconiaのCement retain abutmentを、
Wax-Upフレームを読み取って製作する場合
(NobelBiocare インプラントシステムを使用)

- Connection brand
・ NobelBiocare
- Connection type
・ Conical Connection
- Diameter
・ RP
- Production method
・ NobelBiocare Production
- Material
・ Zirconia
- Shade
・ Medium
- Screw channel
・ Straight
- Design
・ Screw retain crown

【Screw retain】を選択します

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

コネクションのメーカー名

Nobel Biocare

コネクションのタイプ

Conical Connection

External Hex

Internal Tri-Channel

直径

NP

RP

WP

製作方法

Nobel Biocare production

材質

Zirconia

シェード

Medium

スクリューチャンネル

Straight

デザイン

アバットメント

例：(本項での手順)
ZirconiaのCement retain abutmentを、
Wax-Upフレームを読み取って製作する場合
(NobelBiocare インプラントシステムを使用)

- コネクションのメーカー名
・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
・ Conical Connection
- 直径
・ RP
- 製作方法
・ NobelBiocare Production
- 材質
・ Zirconia
- シェード
・ Medium
- スクリュー・チャンネル
・ Straight
- デザイン
・ スクリュー固定によるクラウン

【Screw retain】を選択します

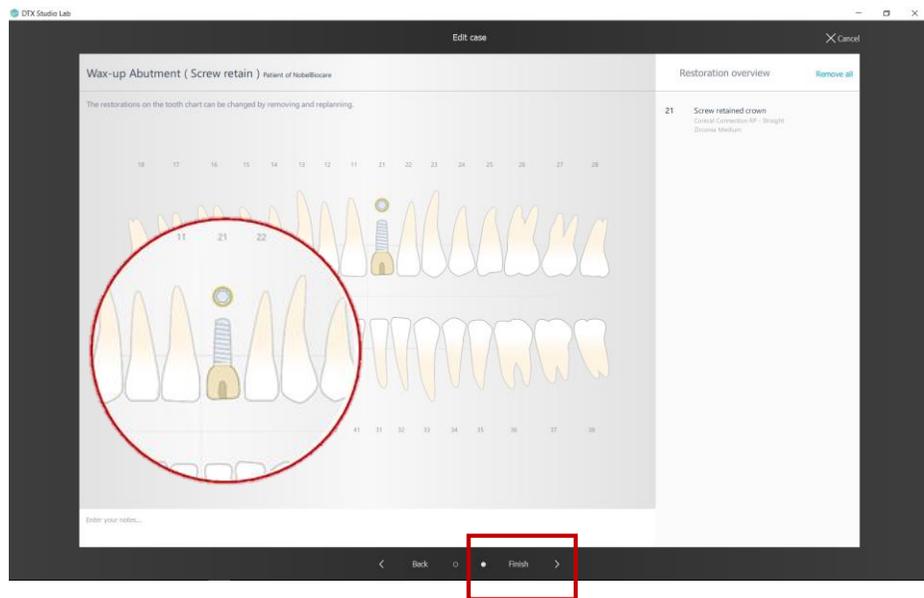
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



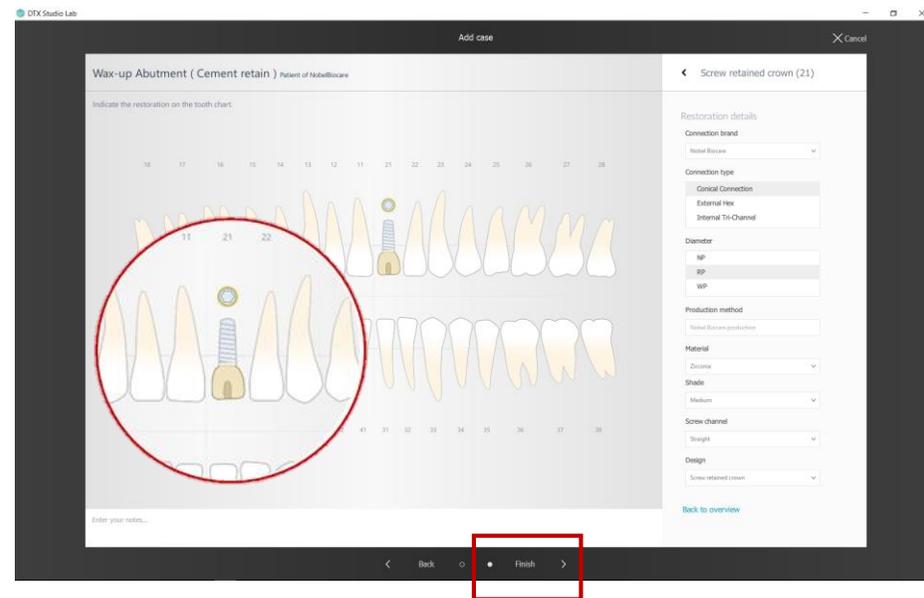
Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



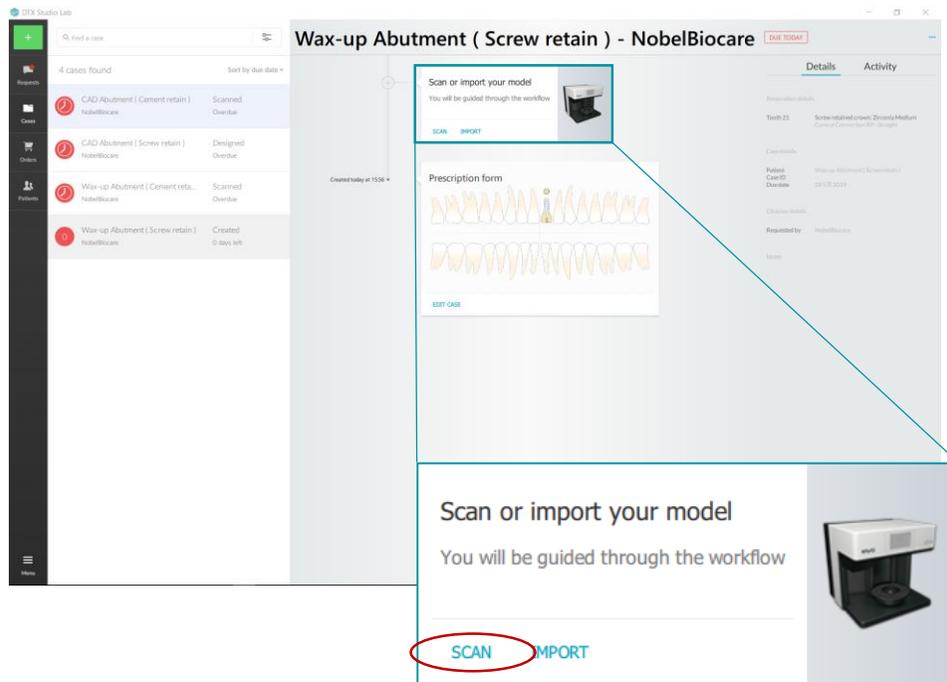
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【SCAN】ボタンから、スキャンを開始します

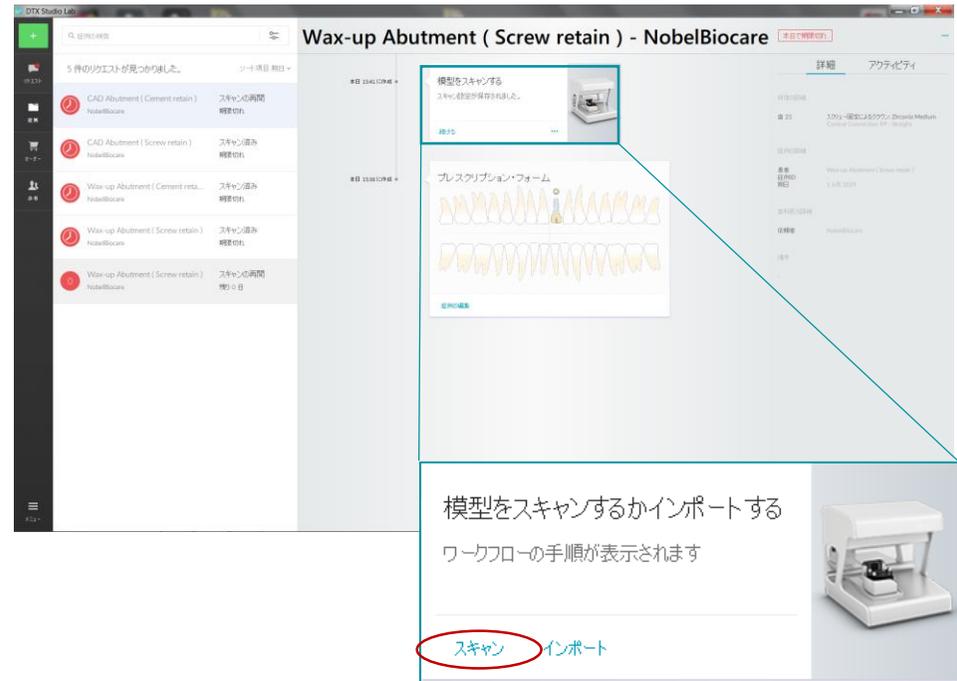
Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【スキャン】ボタンから、スキャンを開始します

DTX Studio™ Lab 1.10

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

- 作業模型
 - ・ Wax-Up フレーム
 - ・ 分割模型が望ましい
 - ・ ガム材使用が望ましい
- アバットメントポジションロケーター



作業模型 & Wax-Up フレーム



各種アバットメントポジションロケーター



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーにスキャン模型を固定し、LS3 スキャナーへ装着します。 ※図1

KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレートを装着している場合は、直接スキャナーに装着します ※図2

図1



モデルホルダへの装着例

図2



KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレートへ装着例



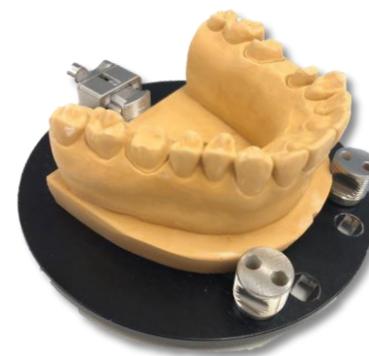
Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーG2にスキャン模型を固定し、Genion2 スキャナーへ装着します。



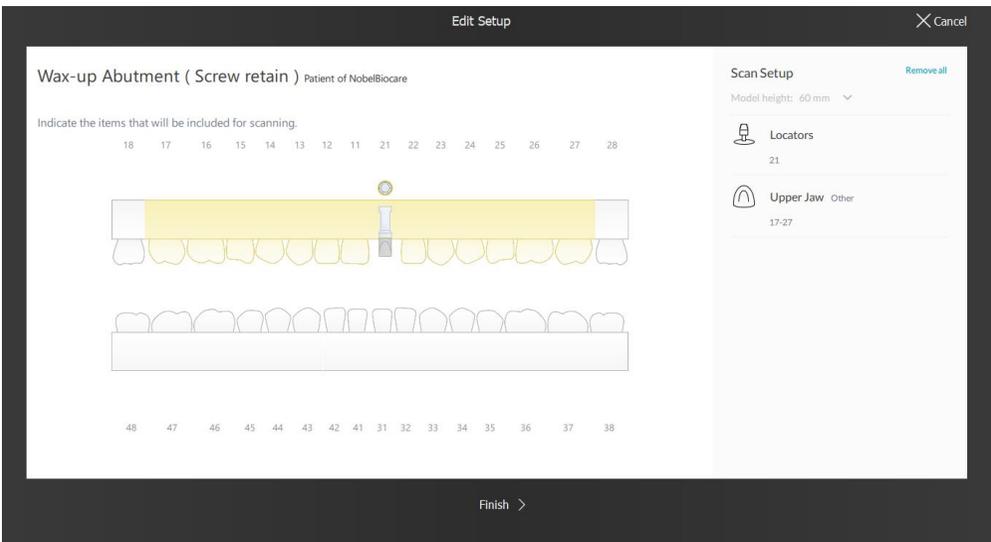
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



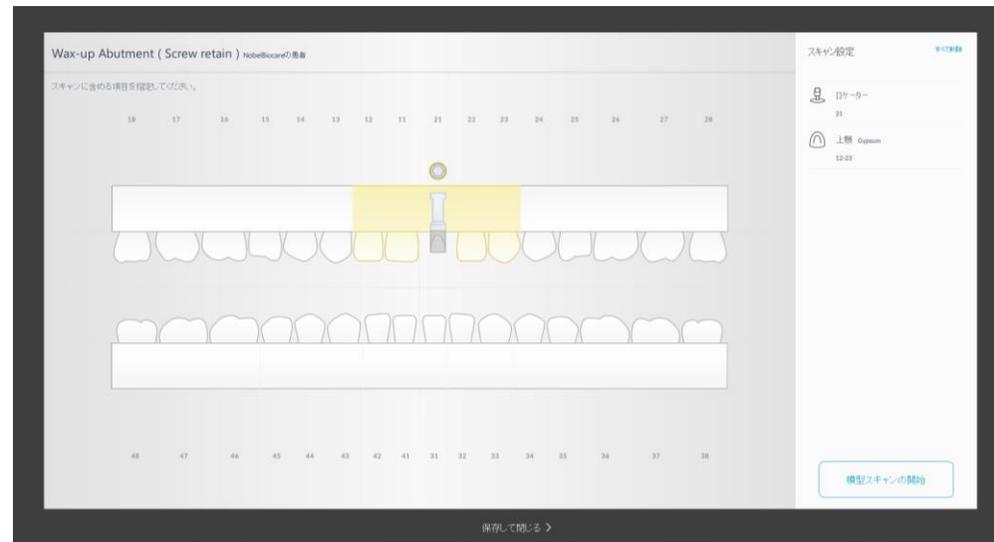
Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

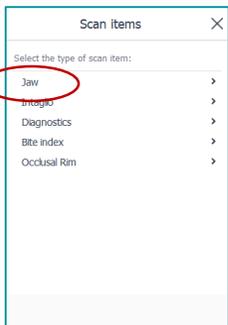
DTX Studio™ Lab 1.10



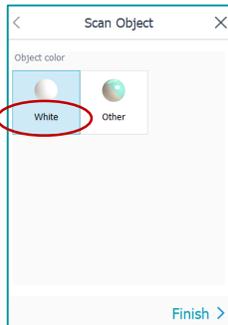
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



Scan itemsから【Jaw】を選択します



Scan Objectを選択し【Finish】をクリックし終了します

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン

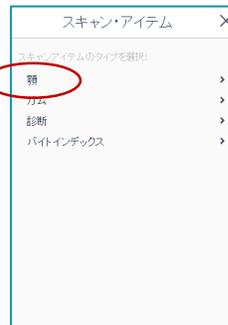


Genion 2 Scanner

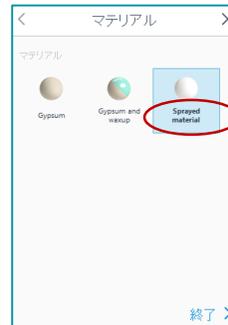
Scan

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



スキャン・アイテムから【顎】を選択します



マテリアルを選択し【終了】をクリックし終了します

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

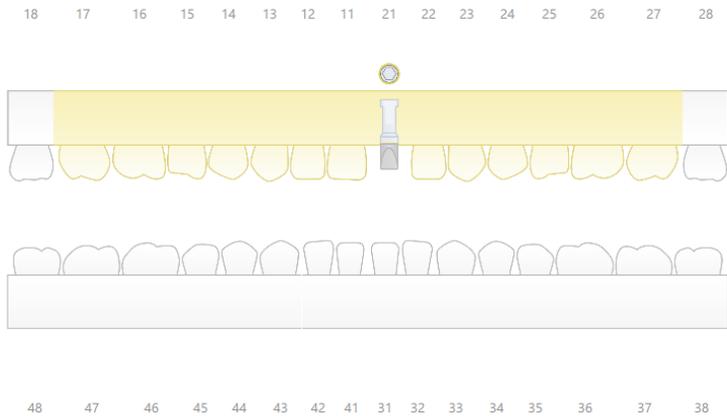
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up Abutment (Screw retain) Patient of NobelBiocare

Indicate the items that will be included for scanning.



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

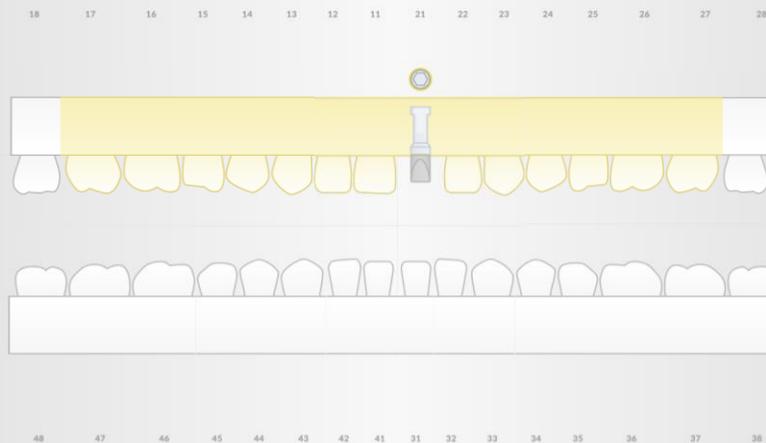
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up Abutment (Screw retain) NobelBiocareの患者

スキャンに含める項目を指定してください。



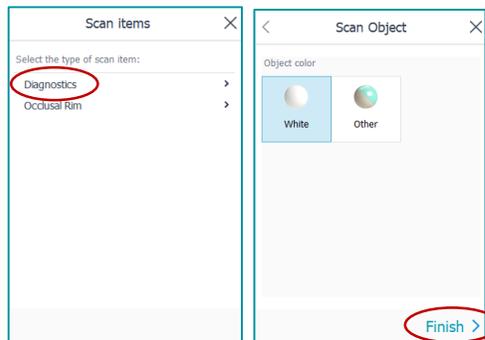
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Wax-UpのScan範囲設定を行います



- ・ Scan itemsから【Diagnostics】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします



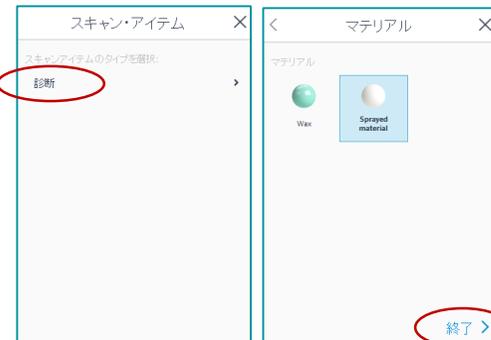
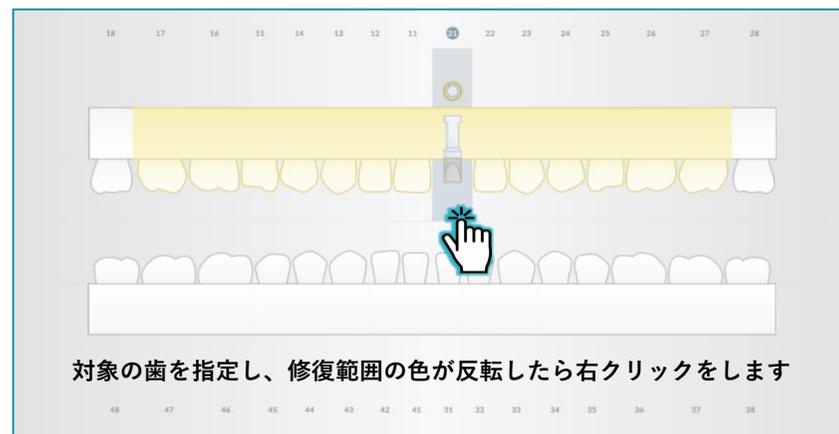
Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

ワックスアップのScan範囲設定を行います



- ・ スキャン・アイテムから【診断】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします



DTX Studio™ Lab 1.10

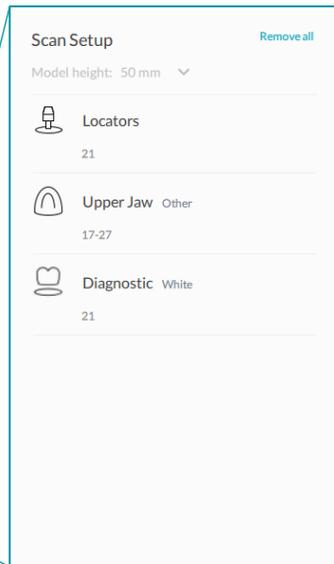
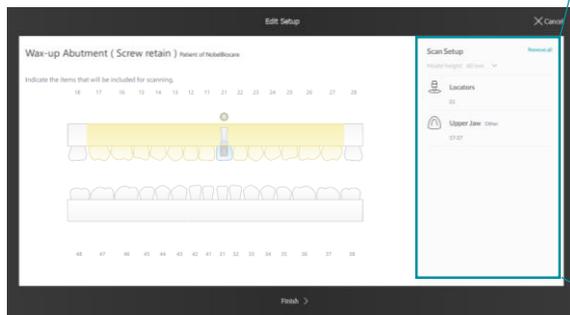


Kavo LS3 Scanner

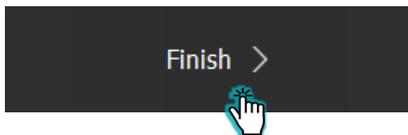
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

設定を行うと同時に、Scan Setupの項目が追加され、Scanの準備が整います



設定が完了したら、画面下の【Finish】をクリックし設定を完了します



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン

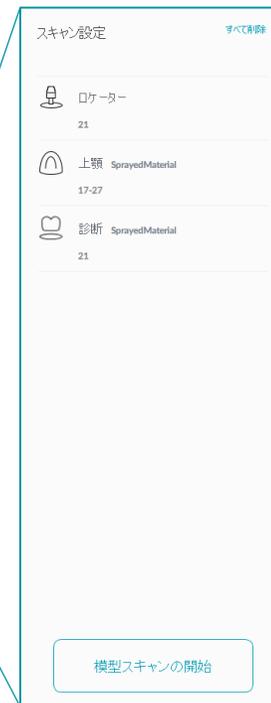
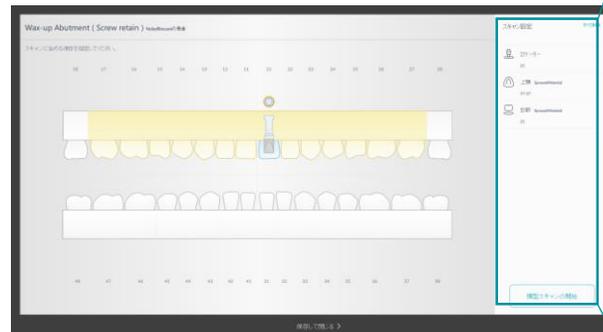


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

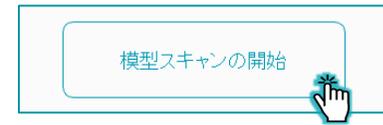
設定を行うと同時に、スキャン設定の項目が追加され、Scanの準備が整います



設定が完了し保存したい場合は、画面下の【保存して閉じる】をクリックし設定を保存します。



設定が完了しスキャンに移動したい場合は、スキャン設定下部の【模型スキャンの開始】をクリックします。



DTX Studio™ Lab 1.10



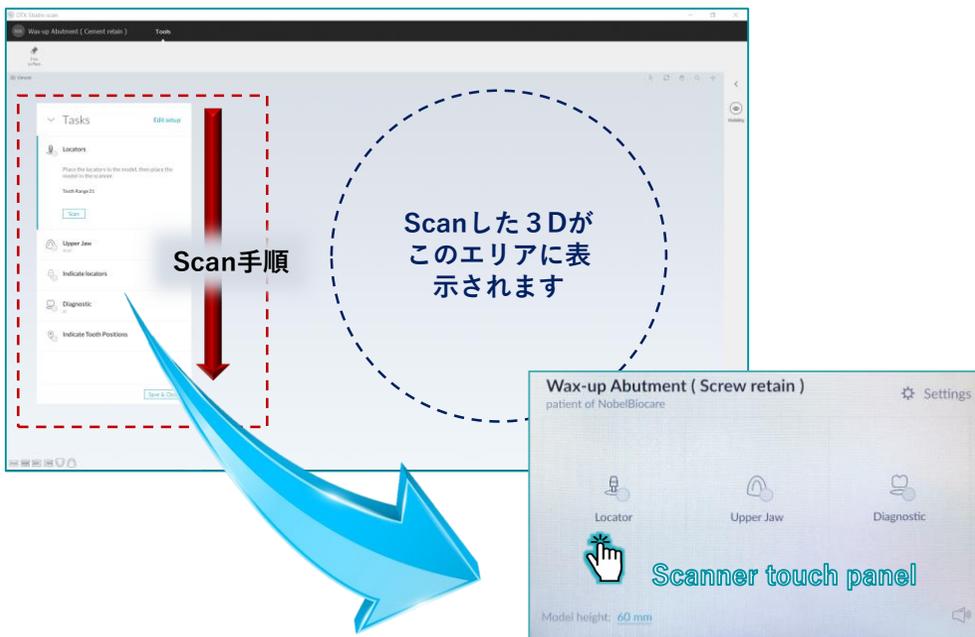
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

Scan Tasksに表示されている順番(上から下)でScanを行ってください。
各項目の【Scan】をクリックするとScanを開始します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。
各項目をタッチし、さらに【Scan】をタッチするとスキャンを開始します

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

領域指定オブジェクトが表示されますので、スキャン対象物に領域指定を行いScanを行ってください。
各項目画面下の【>】を左クリックするとScanが開始します。



スキャン対象物に領域指定を行い
Scanを開始します

DTX Studio™ Lab 1.10

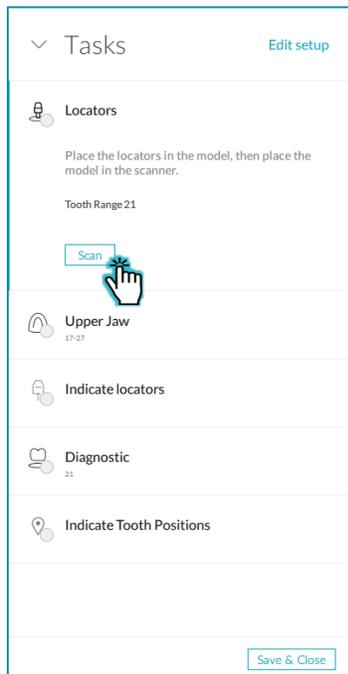


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Locators項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

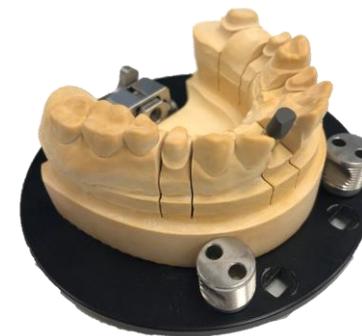
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャンを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



DTX Studio™ Lab 1.10

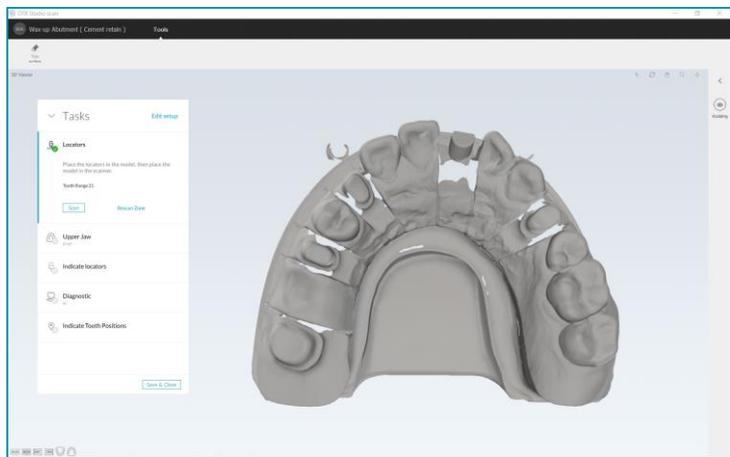
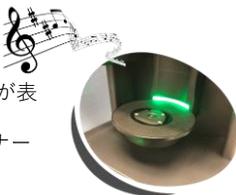


Kavo LS3 Scanner

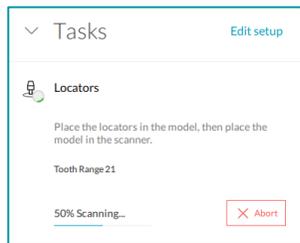
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

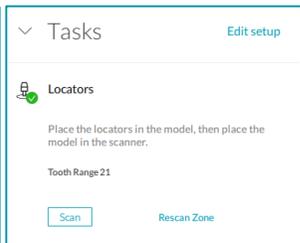
Scanを実行すると、TasksにScanning 進行率が表示され、画面中央に3Dデータが表示されます。Scanが終了すると、効果音とともに、スキャナーが緑色に光ります



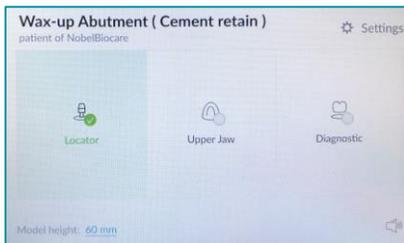
Scanが終了すると、項目アイコンの横にチェックマークが点灯します



Scan進行中の画面
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面
(スキャナー側)

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

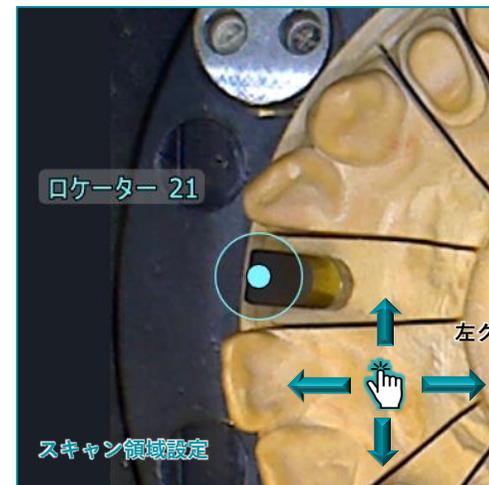
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します



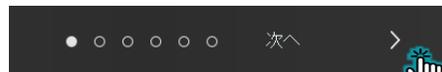
ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します



Scan対象物に領域指定を行い、画面下の【>】を左クリックすると、Scanを開始します



左ドラック：
ポイントをつかみ、移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

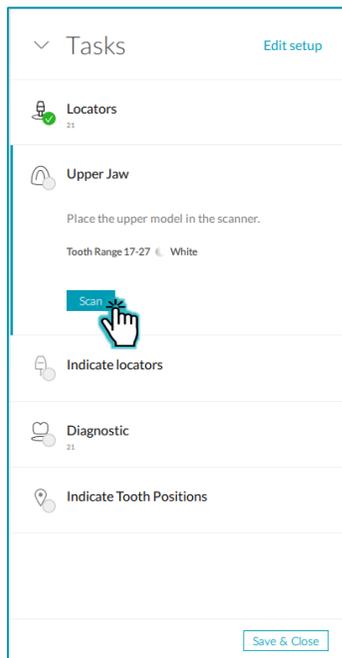


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



ロケータを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。

DTX Studio™ Lab 1.10

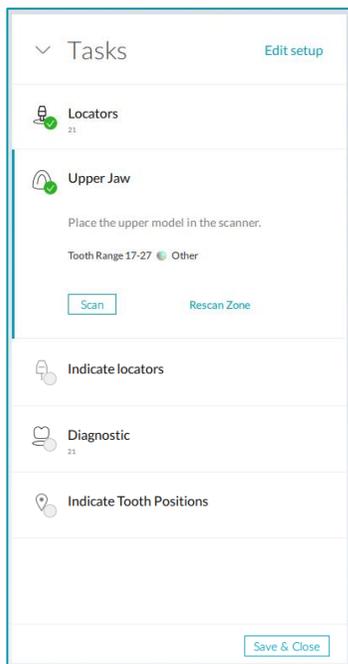


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



カラーズキャンを行った場合



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

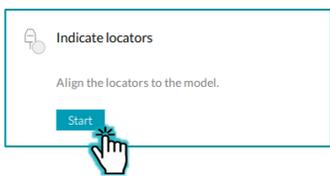


Kavo LS3 Scanner

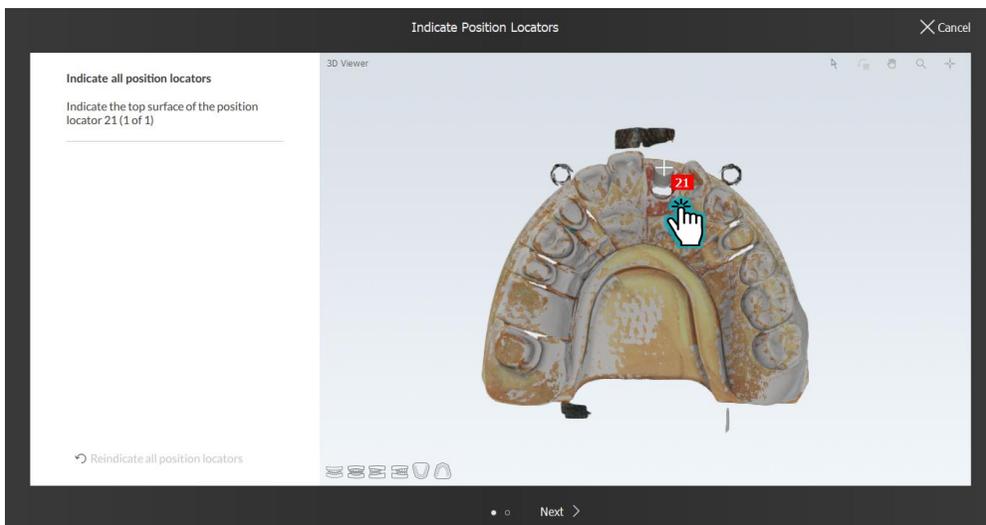
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの【Start】をクリックし、Locatorの確認を開始します



下図のように、【+字キー】をLocatorの中心に合わせクリックします。



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

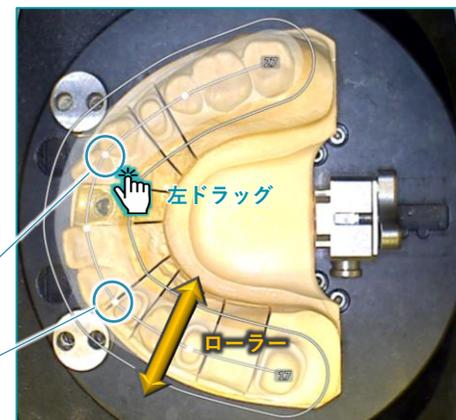
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャンを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



左ドラッグ：
ポイントをつかみ、移動します



ローラー：
領域の幅を拡大/縮小します

領域指定が完了し、画面下の【>】を左クリックすると、Scanが開始されます



DTX Studio™ Lab 1.10

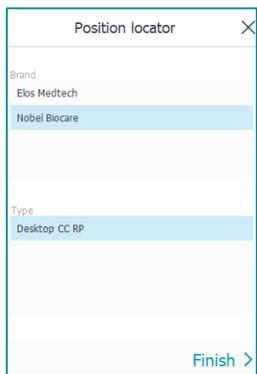


Kavo LS3 Scanner

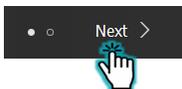
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

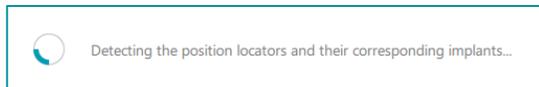
実際に使用したPosition Locatorの種類を選択し【Finish】をクリックします。



Position Locatorと、ソフトウェアがはめ込んだ、青色のロケータデータにズレが起きていなければ、【Next】をクリックします



ソフトウェアが計算を行います



Position Locatorのアライメントが終了したら、【Finish】をクリックします



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

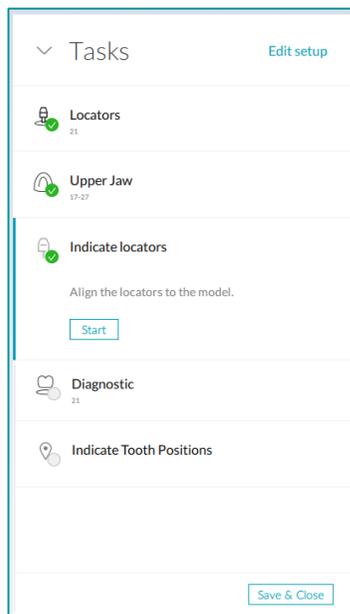


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの完了



カラーズキャンを行った場合



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

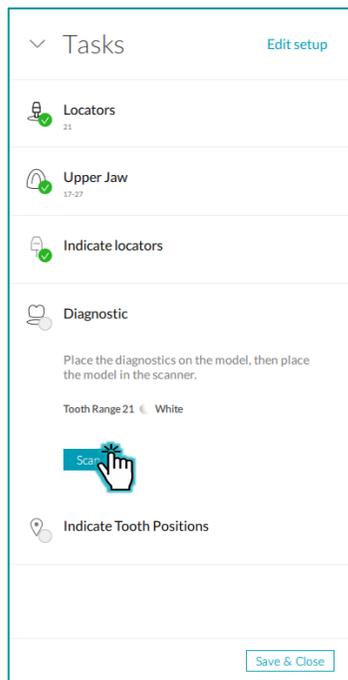


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Diagnostics項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



修復側模型にワックスアップフレームを装着します。
ガム材を外しておくと、歯肉内も読み込むことができます。



スクリーアクセスホールを
ワックスやシリコンで封鎖
します。



スキャナータッチパネルからも
スキャンを開始できます。

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレーム(修復側の顎)のスキャンを開始します



修復側顎模型にワックスアップを装着し、
スキャンスプレーもしくは、スキャンパウダーを塗布します

青いスプレー&パウダーはScanできません



DTX Studio™ Lab 1.10

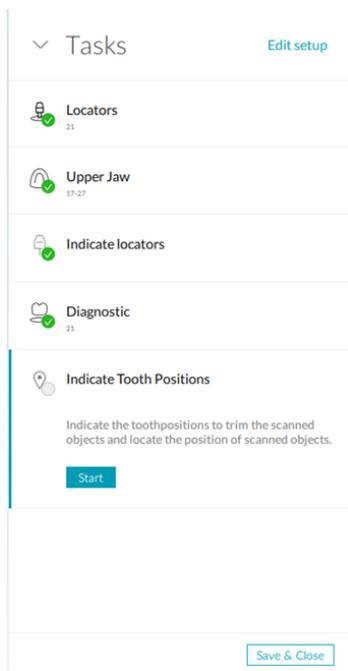


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了



カラスキャンを行った場合



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

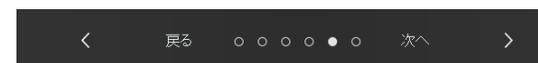
ワックスアップフレーム(修復側の顎)のスキャンを開始します



スキャン領域の指定を行います。



スキャン領域を指定したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが開始されます。



DTX Studio™ Lab 1.10



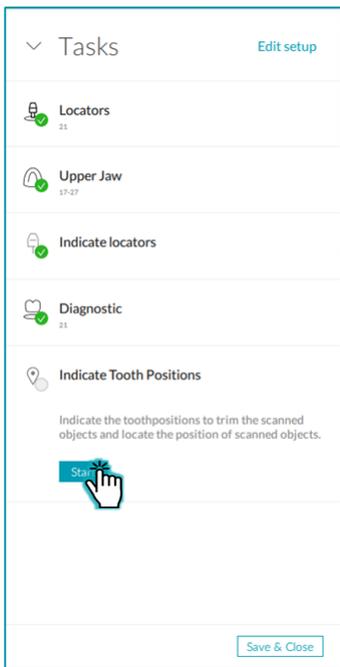
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です)。



画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントを付与します。

歯牙番号



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

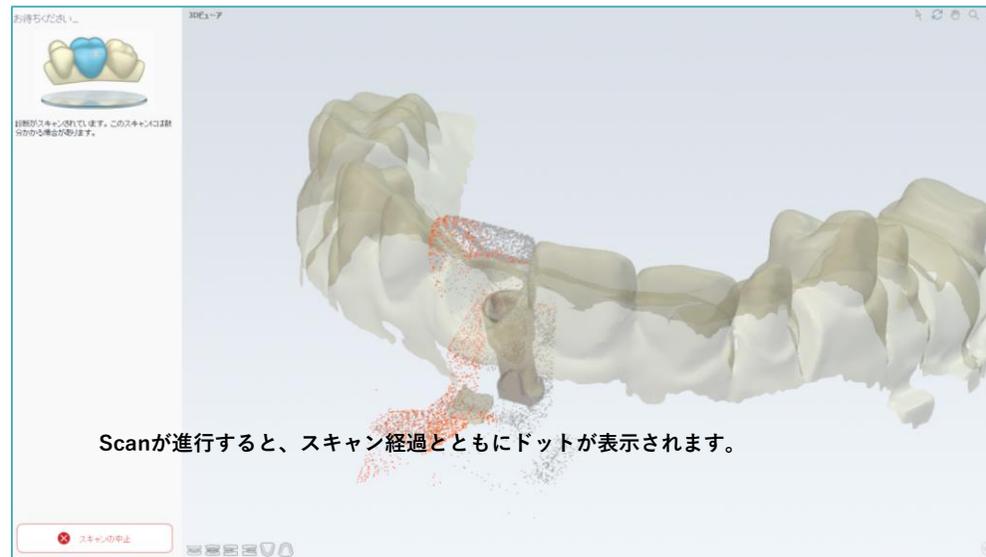


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。

DTX Studio™ Lab 1.10



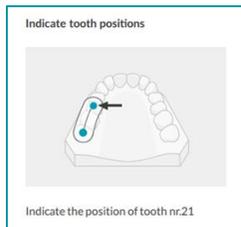
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

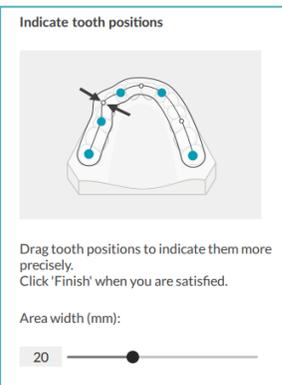
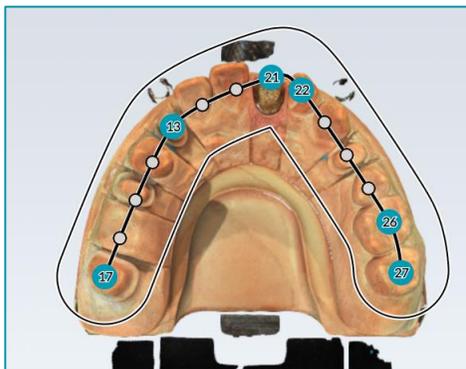
Scanを行います

Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です)。

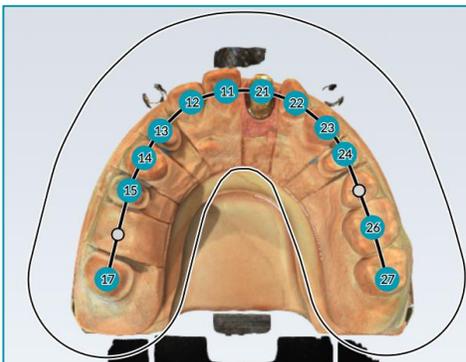


画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントが付与します。



ポイントを付与がしゅうりょうしたら、模型外周の枠線をかくにんしながら、ポイントの位置をを修正します。

範囲をひろげたり、狭めたりしたい場合は、【Area width】ゲージで調整します。



Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

Genion 2 Scanner

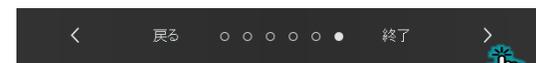
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが完了します。



DTX Studio™ Lab 1.10

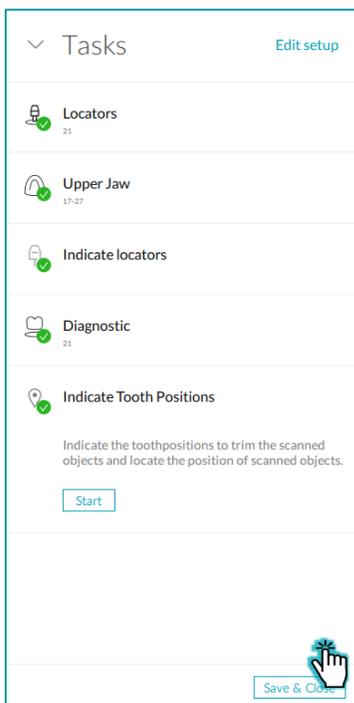


Kavo LS3 Scanner

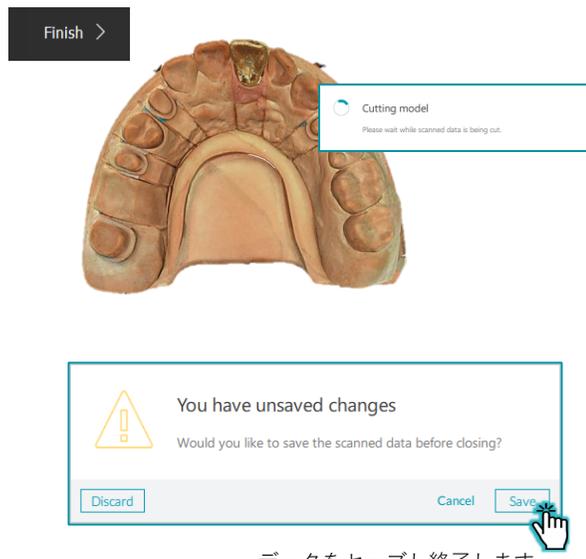
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Tooth Positions項目のScanを完了します。



画面下の **【Finish】** を左クリックします。
計算後、模型がカットされたら完了です。
【Tasks】 の下部にある **【Save & Close】** をクリックし、
データをセーブしてスキャンの全工程を終了します。



データをセーブし終了します。

Wax-up スクリューリテイン アバットメントスキャン



Scan

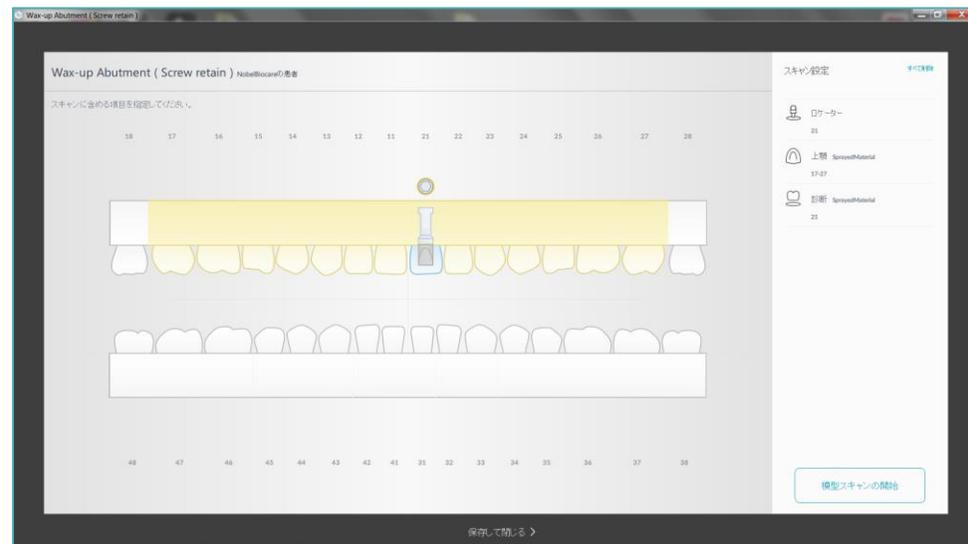


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanの完了



Scanが終了したら、画面下の
【保存して閉じる>】 を左クリックし保存します



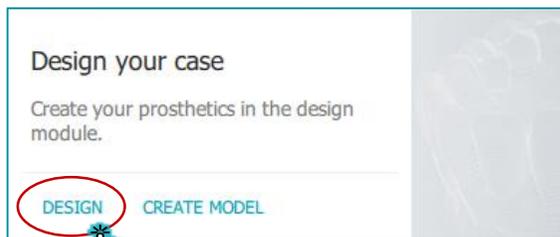


【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

スキャンを完了すると、DTX STUDIOプラットフォームにデザイン項目が表示されます。

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない

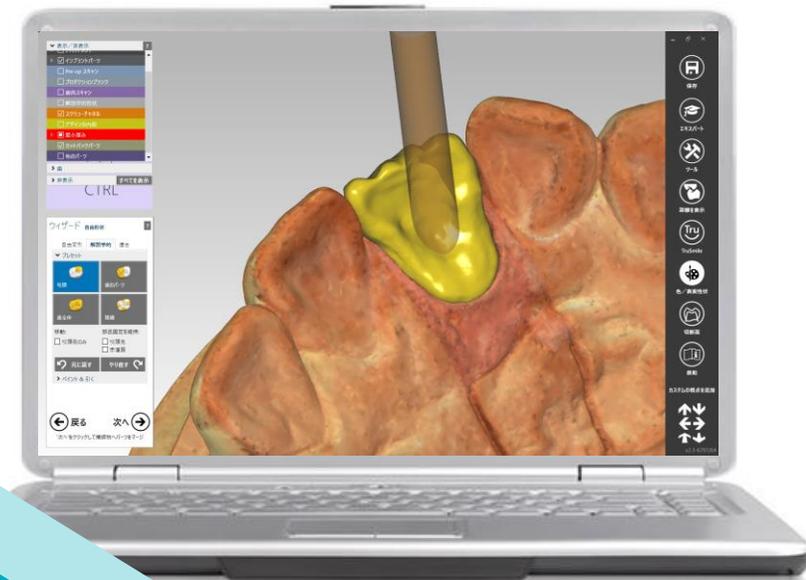
Wax-up Abutment (Cement retain... Scanned
NobelBiocare Overdue

Scanが終了すると、ステータスが変わります

DTX STUDIO Labのプラットフォーム

Wax-Up · Abutment / ワックスアップ・アバットメント

- Screw retain Abutment Design / スクリューリテイン アバットメント デザイン



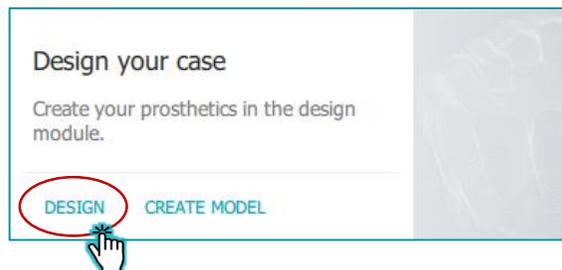


【新規デザインを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

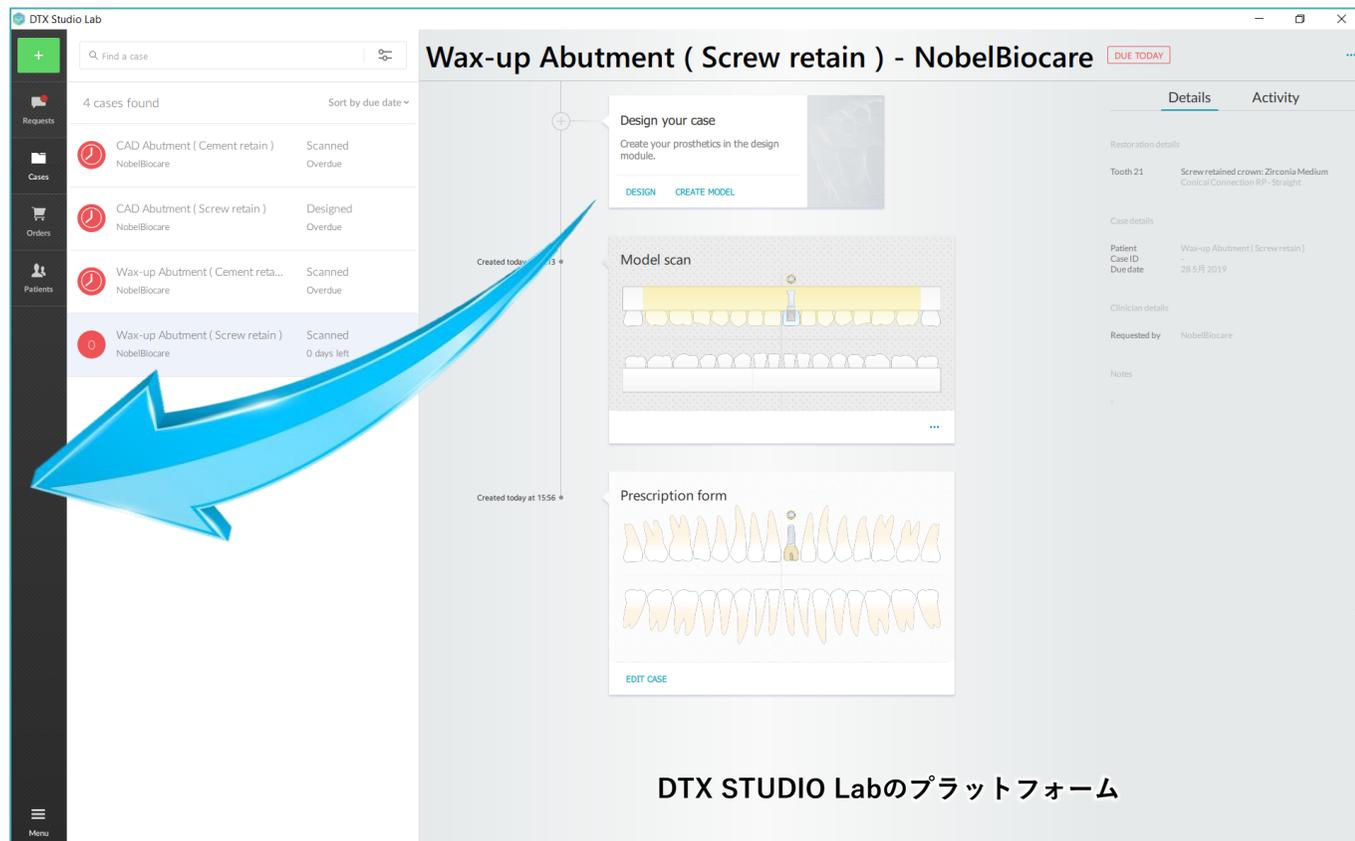
DTX STUDIOプラットフォームからデザインを開始します

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、
デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングルライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない



DTX STUDIO Labのプラットフォーム

DTX Studio™ Lab 1.10

Wax-up スクリューリテイン アバットメントデザイン



Design



【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



マウスの操作



左クリック：
決定/選択



右クリック：
画像の回転



左右クリック：
画像の移動



ローラー：
画像の拡大/縮小



デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面



LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合の表示

【カラー表示の切り替え】

LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

*LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



【新規デザインを開始する】

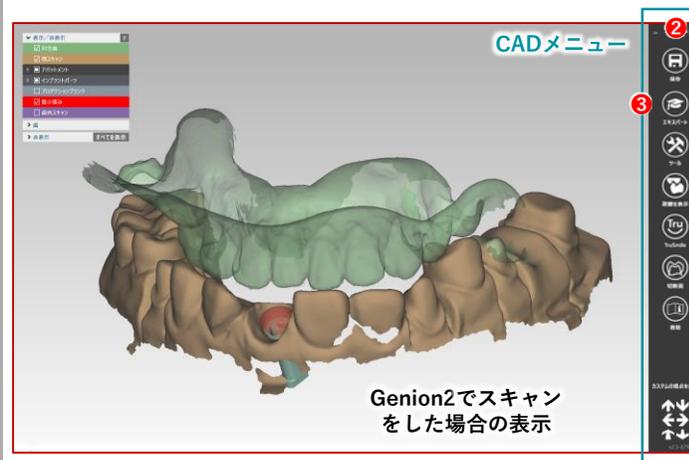
デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。

【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイトインディックスの編集を例に解説します。



2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

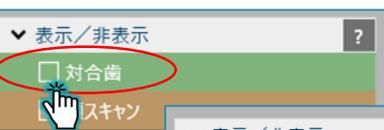
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

右クリック：Context Menuの表示



対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。



1 画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【対合歯】に左クリックでチェックを入れ、対合歯を表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



ワックスアップフレームを編集する場合

画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【Pre-opスキャン】に左クリックでチェックを入れ、ワックスアップを表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



【新規デザインを開始する】

デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合は、Wクリックで範囲指定します。

3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択
 表面上で選択
 表面をクリックして選択

動作

削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル

範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**
全てのデータを1クリックで選択します。

動作

- ▶ **【なし】**
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。
- ▶ **【削除】**
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

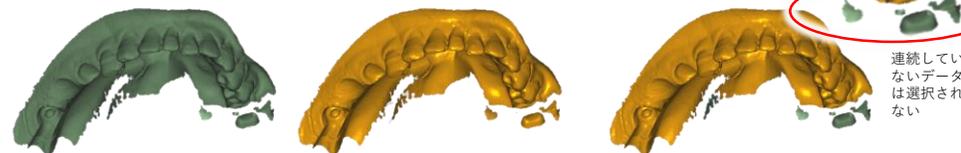
● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



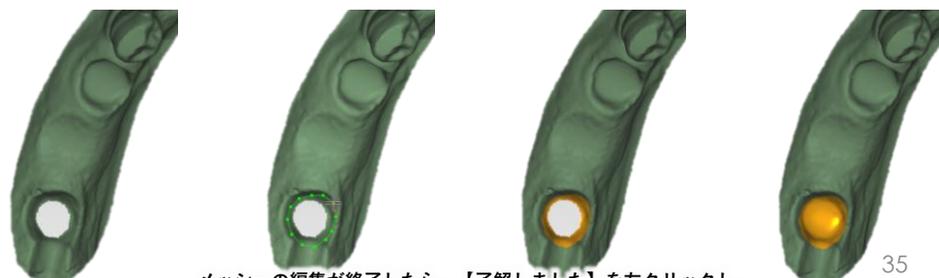
● 削除：1クリックで範囲を指定

【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。



【新規デザインを開始する】

デザインの準備 (位置修正)

【処置前モデルの配置を修正します】

ウィザード 処置前モデルの配置修正

処置前モデルの位置を修正

1 手動 自動

すべての方向に移動/回転

Z軸方向で移動

XY平面上で移動

リサイズを許可

元に戻す やり直す

2 戻る 次へ

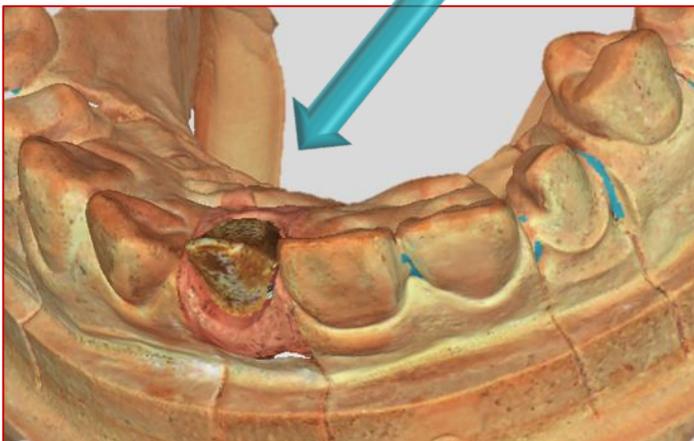
*次へをクリックして出現軸部を定義

データにずれがない場合は、2をクリックして、次の項目に進みます

1 ウィザード欄の【手動】タブから項目を選択し、手動で移動させます。左ドラッグで対象物が移動します。【Ctrl】+左ドラッグで対象物が回転します。

- すべての方向に移動/回転：全方向に移動します
- Z軸方向で移動：上下に移動します
- XY軸平面上で移動：前後左右に移動します
- リサイズを許可：スケールを変更できます

2 設定が終了したら、[次へ]を左クリックして完了をクリックします。



ウィザード 処置前モデルの配置修正

処置前モデルの位置を修正

手動 自動 2

点の数: 0

浮動メッシュ上の点を設定

固定メッシュ上の点を設定

戻る

3 登録を実行

4 ベストフィットマッチング

マッピング/マーキング部分を除外

距離を表示する

消去 元に戻す

5 戻る 次へ

*次へをクリックして出現軸部を定義

2 ウィザード欄の【自動】タブから対象物の合わせたい箇所へポイントを指定し移動させます。【複数のポイントを設定できます】

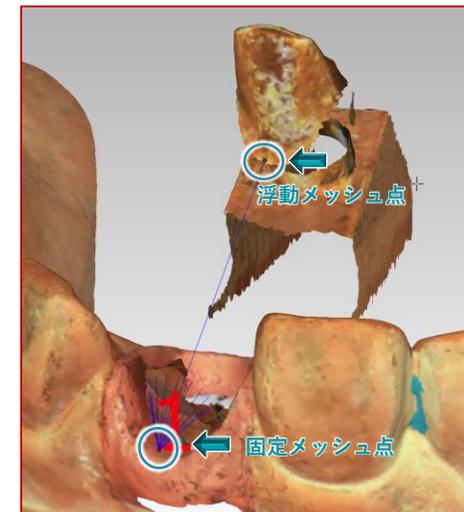
- 浮動メッシュ上の点を設定：ズレている対象物上にポイントします。
- 固定メッシュ上の点を設定：合わせたい対象物上にポイントします。

3 【登録を実行】を左クリックするとポイント同士が重なり、データが移動します。

4 【ベストフィットマッチング】をクリックすると、ソフトウェアが自動計算を行います

POINT

浮動メッシュ側にポイントした個所と同じになるように、固定メッシュ側にポイントします



5 設定が完了したら、[次へ] を左クリックして設定を完了します



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】



1 ウィザード欄の【検出】タブから【ポイントの追加】を選択します。マージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。*図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。*図2

図1

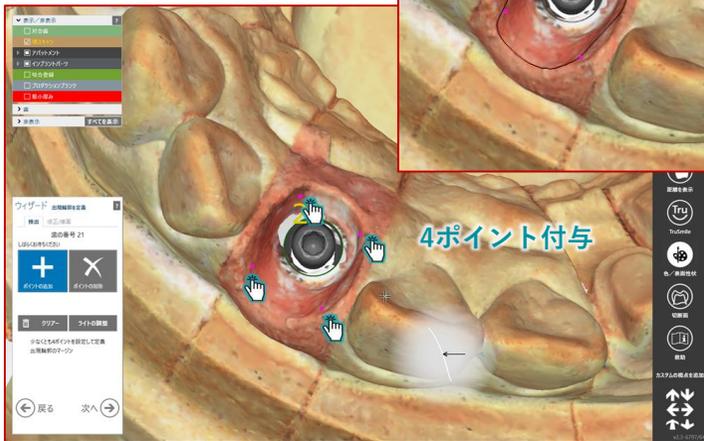
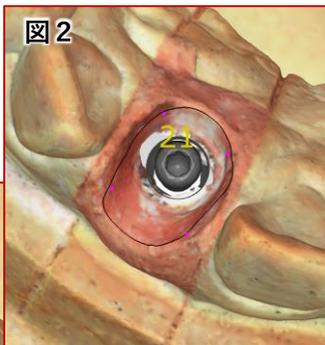


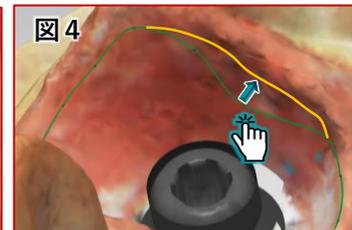
図2



2 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

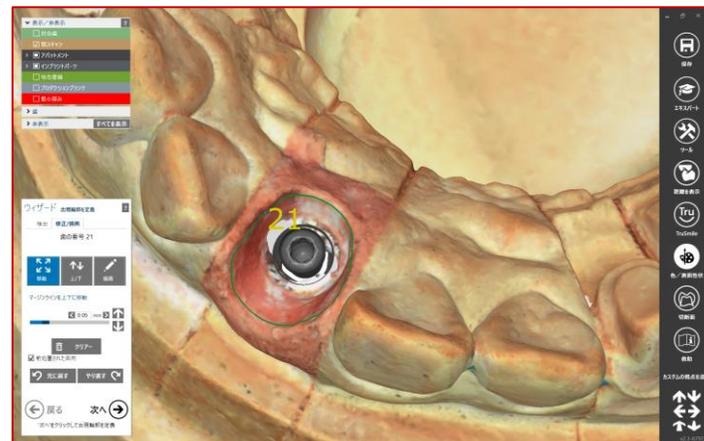
自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。*図3
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。*図4

3 設定が完了したら、[次へ] を左クリックしてマージンの設定を決定します



POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態です。右クリックします。





【新規デザインを開始する】

歯牙データの挿入

【症例に合わせて、歯牙データを挿入します】



ウィザード欄の【選択】タブから挿入する歯牙のタイプを選択します。

【ライブラリーデータの使用】

・ソフトウェアのライブラリーデータを使用する場合は【次へ】をクリックし、次の項目で配置設計をします

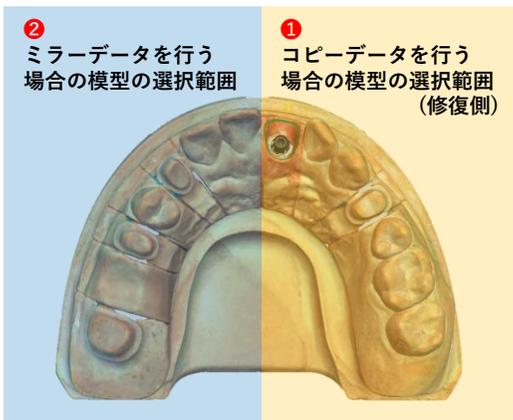
① 【コピーデータの使用】

・模型上の歯牙をコピーしてデザインを行う場合は、【コピー】を選択した後、コピーしたい模型の歯牙を左クリックで選択します。

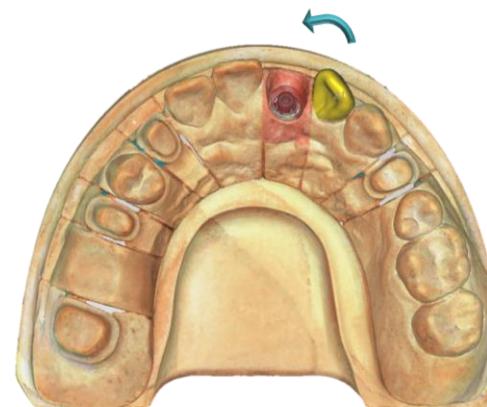
② 【ミラーデータの使用】

・模型データの反対側同名歯を反転コピーしたい場合は、②の【ミラー】を選択した後、模型の歯牙を左クリックで選択します。

③ 選択が終了したら、【次へ】を左クリックします。



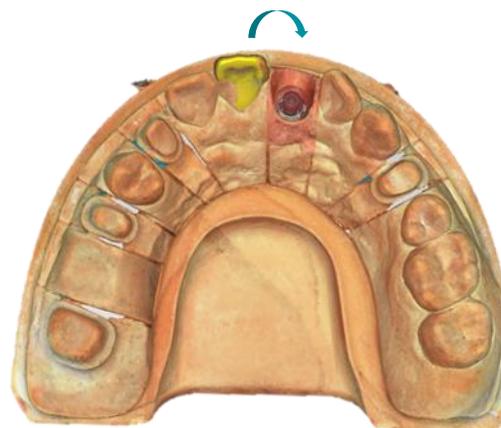
本項で使用している模型も場合



① コピーデータを使用した場合



【主に白歯部に使用】



② ミラーデータを使用した場合



【主に前・白歯部に使用】



【新規デザインを開始する】

歯牙の配置設定

【ウィザード各項目を使用し、歯牙を歯列へ配置を行います】

ウィザード 歯牙模型を置く ?

歯の番号 21

最初の歯の配置を確認してください。

動かす (コントロールキー) 回転

↑ スケール

マージンと残留歯列に自動的に応答するには、「次へ」をクリックします。

アドバンスプレースメントへ行く

歯のライブラリーを変更する

generic

> 近心/遠心を修正

元に戻す やり直す

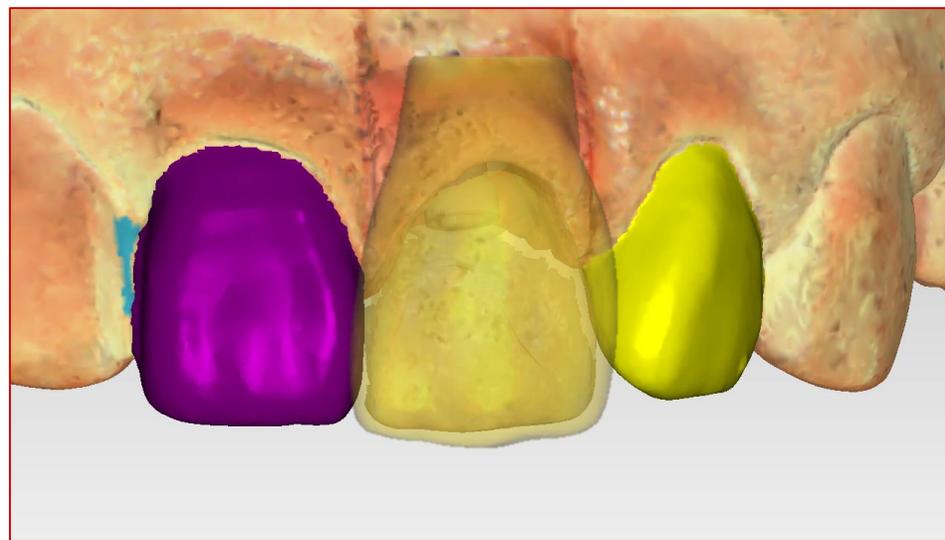
戻る 次へ

① 左ドラッグで移動します

② 【Ctrl】 + 左ドラッグで回転します

③ 【Shift】 左ドラッグで拡大/縮小します

ワックスアップフレームより、一回り大きめに配置設定します。
(後にワックスアップに合わせるためです。)
設定が完了したら、【次へ】を左クリックします。



POINT

ライブラリーデータをワックスアップフレームより、一回り大きめに配置設定します。

ライブラリーデータがワックスアップフレームより小さいと、後にボリュームが不足する場合があります。



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン

【顎スキンの表示を薄くし、歯肉貫通部を可視化します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

3 以上

4

5 以下

6

マージンを上/下に移動
全方向に移動
マージン移動 イン/アウト
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ

【顎スキン】を薄く表示させます

歯肉貫通部のラインが見えるように調整

ウィザード欄の【下部】タブの項目を使用し、アバットメントのプロファイルをデザインします。

歯肉貫通部の形状が見えやすいように、【表示/非表示】ウィンドウから【顎スキン】を薄く表示させます

表示/非表示

対合歯

歯肉

解部

アバット

インフランドトップ

スクリーチャンネル

咬合登録

プロダクションプランク

最小厚み

歯

非表示

歯肉貫通部が視覚化

【プロファイル形状を決定します】

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

【形状】の項目を使用し、アバットメント・プロファイルのトップとボトムをデザインします。

ゲージをスライドさせると形状が変更されます

オリジナル:

何もいじっていない状態

1 トップアングル

2 ボトムアングル

マージンライン付近の豊隆を調整

接合部付近の豊隆を調整

3

4

フリーフォーム 視覚化 リミット?

以上 0.2

5 以下 0.2

丸めを適用
コントロールキー 制御点を追加

フリーフォーム (Shiftキー)

0.2 -0.1 0 0.1 0.2

3 フリーフォーム

左ドラッグで自由変形を行う

ポリウムを増やしたい箇所にカーソルを合わせ、左クリック及び左ドラッグでポリウムを任意に増やすことができます。減らすときは【Shift】キーを押しながら左ドラッグをします

POINT

5 視覚化ゲージ 0.2 -0.1 0 0.1 0.2

ゲージをスライドさせると数値が変更

以上:
0から歯肉から離れていく方向の値

以下:
0から歯肉へ向かっていく方向の値

4 視覚化

歯肉内面との接触状態を色で表示します。

赤色: 歯肉へ強く接している状態

黄色: 歯肉へほぼピッタリと接している状態

青色: 歯肉へ接触していない状態

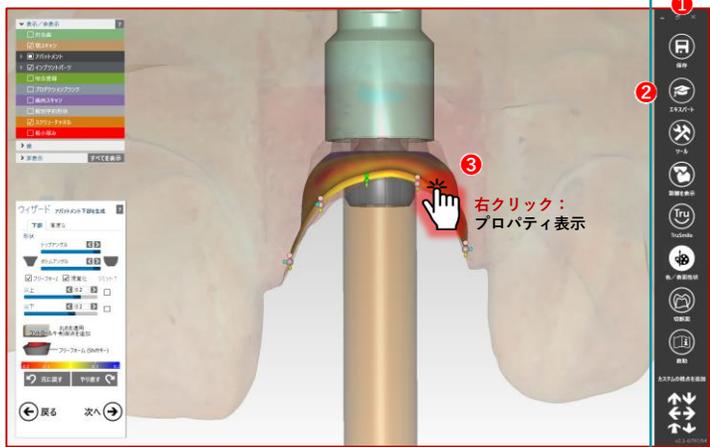
【視覚化】にチェックを入れると、視覚表示のゲージが有効化されステータスを変更することができます。



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン - アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



CADメニュー

① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

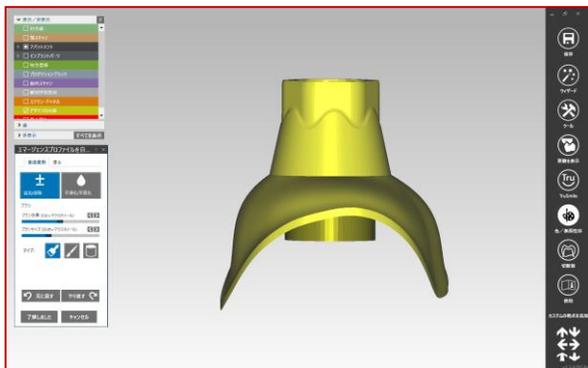
② エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

右クリック：
プロパティ表示

③ アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【エマーゼンスプロフィールを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



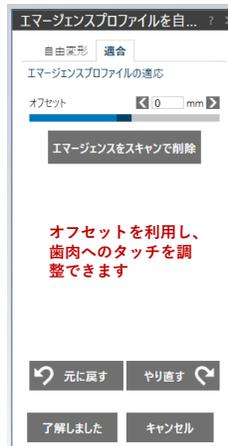
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



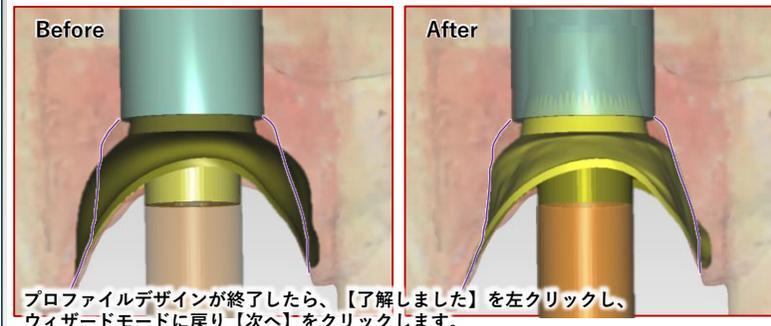
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】



ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマーゼンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

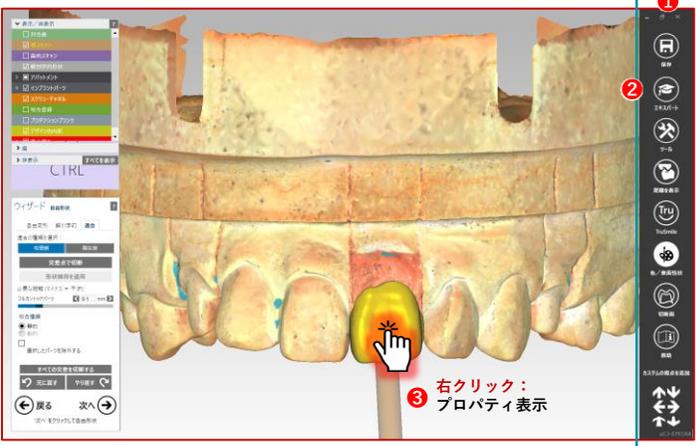


【新規デザインを開始する】

ワックスアップフレームの適合

【Wax-Up スクリューリテイン設定をしている場合は、ウィザード項目に処置前モデル項目が出現します】

【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

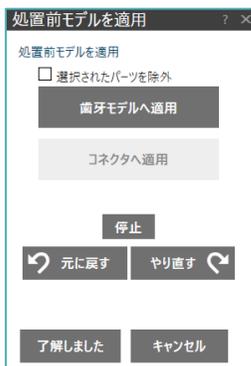
② エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③ 右クリック：
プロパティ表示

③ 処置前モデル上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【処置前モデルを適応...】を選択します。

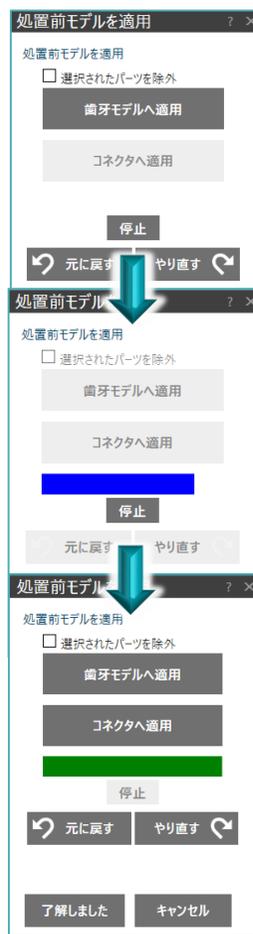


POINT
選択されたパーツを除外

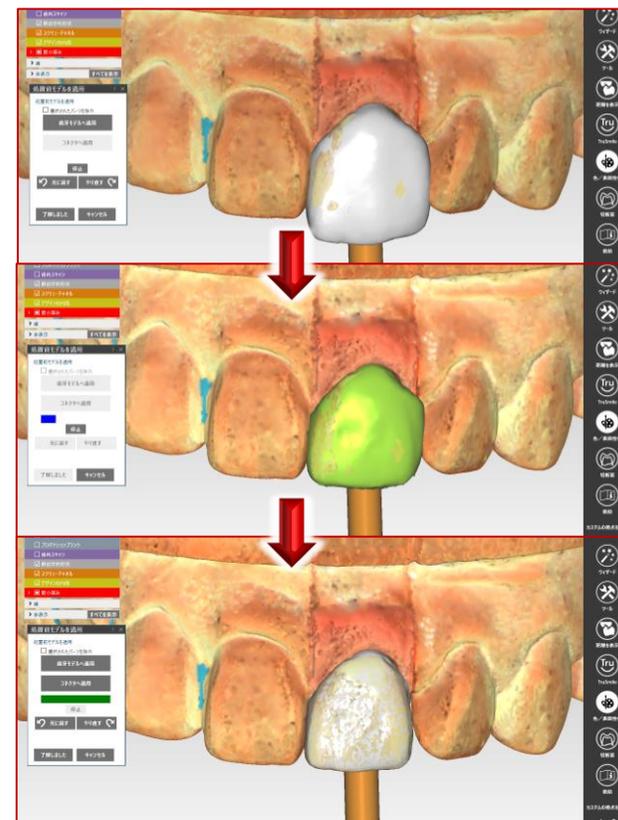
選択されたパーツを除外にチェックを入れ、ブラシツールで色塗りすると、その部分は変形せず、デザインを行うことができます。



【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



処置前モデルを適用ウィンドウの【歯牙モデルへ適応】をクリックし、ライブラリーの歯牙データを、ワックスアップフレームのデータに合わせます。



設定が完了したら、【了解しました】をクリックします

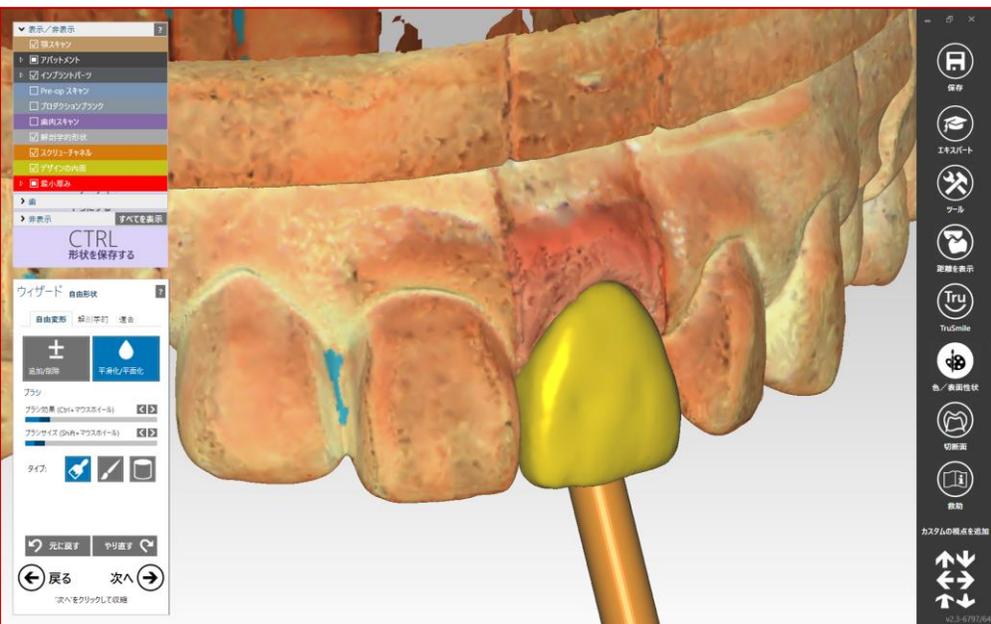


【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【必要に応じスキップできます】

【自由形状をデザインします】 - クラウン -



ウィザード欄の

- ① 【自由変形】
- ② 【解剖学的】
- ③ 【適合】

タブ内の項目を使用し、歯冠形態をデザインしていきます



【解剖学的特徴のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【解剖学的】タブをクリックします。
【咬頭】【歯のパーツ】【歯全体】【隆線】の項目から、症例に合わせて歯冠データを調整します

① 【咬頭】

咬頭部(または一部分)の形態を変更できます

② 【歯のパーツ】

歯のブロック(近心、遠心、頬側、舌側)部分の形態を変更できます

③ 【歯全体】

歯全体の位置を動かす変更ができます
根尖側を軸にあらゆる方向に移動できます

④ 【隆線】

隆線部(または一部分)の形態を変更できます

POINT 形状変形

左クリックでツマミ、左ドラッグで変形させます。



【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【必要に応じスキップできます】

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

1 追加/削除 2 平滑化/平面化

ブラシ

3 ブラシ効果 (Ctrl+マウスホイール) <>

4 ブラシサイズ (Shift+マウスホイール) <>

タイプ: 5 6 7

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

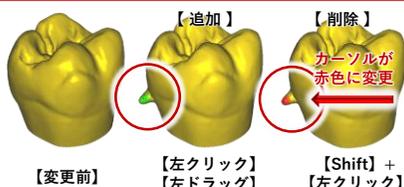
戻る 次へ

*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。
 【追加/削除】【平滑化/平面化】【ブラシ効果】【ブラシサイズ】
 【タイプ】の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

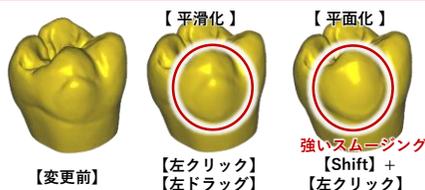
1 【追加/削除】

【左クリック&ドラッグ】
 でデータを追加できます。
 データを減らす場合は
 【Shift】+【左クリックor
 ドラッグ】で削除できます



2 【平滑化/平面化】

【左クリック&ドラッグ】
 でデータを平滑できます。
 強いスムージングの場合は
 【Shift】+【左クリックor
 ドラッグ】で実行します。



3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

5 6 7 【ブラシタイプ】

- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

適合の種類を選択:

1 咬頭側 2 隣在側

交差点で切断

形状維持の適用

必要な距離 (マイナス = 干渉):

隣在歯 <> 0.1 mm >

ディスクカッター

隣接の接触部分をブロックアウトする

隣接歯に向かって横向きに引っ張る

選択したパーツを除外する

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

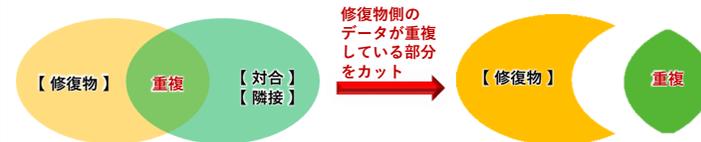
戻る 次へ

*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。
 表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分
 のデータをカットします。
 (製作するプロダクトにより表示が異なってきます)

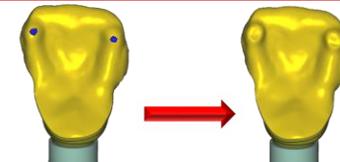
交差点で切断 交差点で切断ボタンでデータを切り取ります

形状維持の適用 形状維持の適用ボタンでデータを維持します



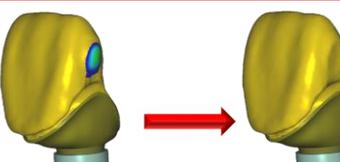
1 【咬頭側】

対合歯と交差している部分の
 データを削除します



2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差して
 いるデータを削除します



3 【必要な距離】

データの交差量を調整します
 マイナス：干渉
 プラス：空隙



右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)

デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

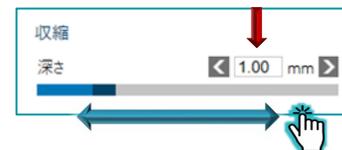
カットバックフレームをデザインします
【必要に応じスキップできます】

【カットバックフレームをデザインします】

【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

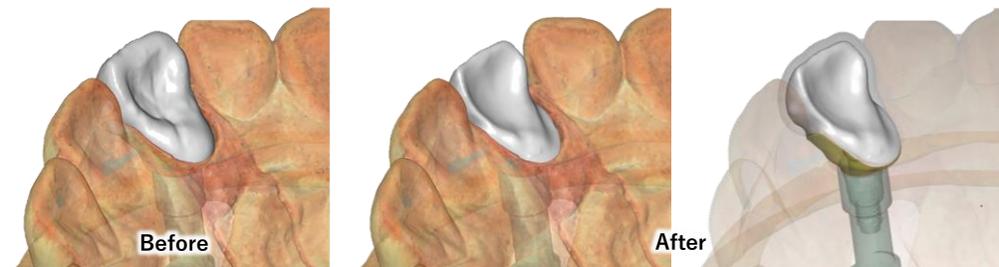
① 値の入力もしくは、ゲージ調整



Step :

- ① 【収縮】の深さを設定します。
- ⑥ 【適用】をクリックします。
- カットバックされます。

クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます



POINT カットバックの表示

【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする



ウィザード 取縮処理

カットバックデザインライブラリ...

使用しないでください (通常縮小)

① 収縮

深さ < 1 mm >

② 部分収縮

選択されたパーツを除外

ブラシの厚み < >

③ すべてをマーク

すべて 舌側カラー

▼ [舌側の収縮を抑制しますか?]

④ 舌側収縮 < 100 % >

⑤ 前歯にのみ適用

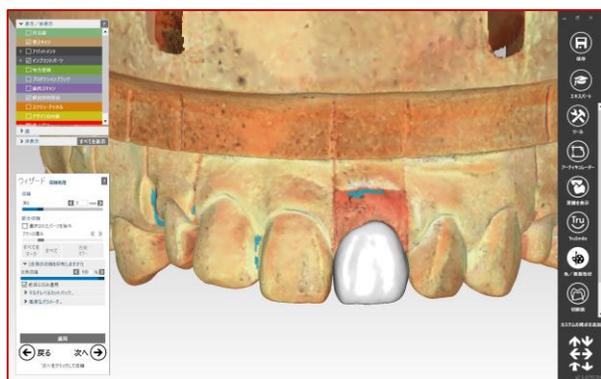
▶ マルチレベルカットバック...

▶ 高度なパラメータ...

⑥ 適用

← 戻る 次へ →

*次をクリックして収縮



- ① 【収縮】：カットバック量を調整します。(深さ：0～5mm)
- ② 【部分収縮】：部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。**色が塗られた箇所以外がカットバックされます。**
 - すべてをマーク：クラウン全体を選択します。
 - すべて：マークされた部分をクリアします。
 - 舌側カラー：舌側カラーを設定します。
- ③ 【舌側の収縮を抑制しますか?】：舌側の収縮量調整をします。
 - 0：カットバックしません
 - 100：①の【収縮】深さに準じカットバックします。
 - 【前歯部のみ】にチェックを入れると、臼歯部へは適応しません。
- ④ 【マルチレベルカットバック】：同一箇所カットバックが複数回できます。
- ⑤ 【高度なパラメータ】：最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- ⑥ 【適応】：①～④のステータス設定後、適応ボタンでカットバックします。

POINT カットバック

①の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

フルクラウンタイプに使用できます



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします
【必要に応じスキップできます】

【パーシャルカットバック】



クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

1. ① 【収縮】の深さを設定します。
2. ② 【部分収縮】の【**選択されたパーツを除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
(適宜、**すべてをマーク・すべて・舌側カラー**を選択します。)
3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。
色が塗られた箇所以外がカットバックされます。

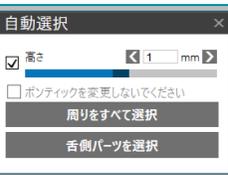
- ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。
【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。
- ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
- ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
【自動選択】ウィンドウが表示され、舌側カラーの高さと範囲が選択できます。(図1)
- 【周りをすべて選択】：クラウン全周にカラーが付きます。
- 【舌側パーツを選択】：クラウン舌側にカラーが付きます。

リングル・カラーの設定

【周りをすべて選択】

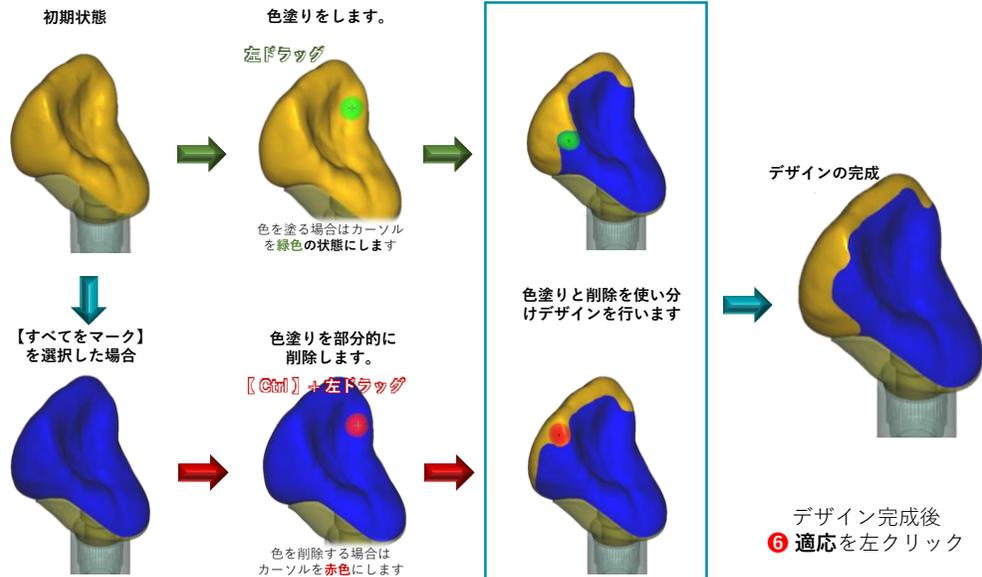
【舌側パーツを選択】

図 1



【パーシャルカットバック】

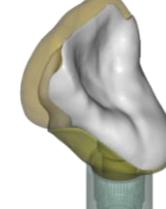
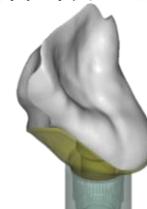
フリー・デザイン



カットバックフレームの完成

カットバックフレーム

カットバック量の確認





【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします
 【必要に応じスキップできます】

【パーシャルカットバック】

ウィザード 収縮処理

カットバックデザインライブラリ...
 使用しないでください (通常縮小)

1 収縮
 深さ 1 mm

2 部分収縮
 選択されたパーツを除外
 ブラシの厚み

3 すべてをマーク すべて 舌側カラー

4 [舌側の収縮を抑制しますか?]
 舌側収縮 100 %

5 前歯にのみ適用
 ▶ マルチレベルカットバック...
 ▶ 高度なパラメータ...

6 適用

戻る 次へ

*次をクリックして収縮

【舌側収縮の抑止機能】

舌側一定範囲のカットバック機能

Step :

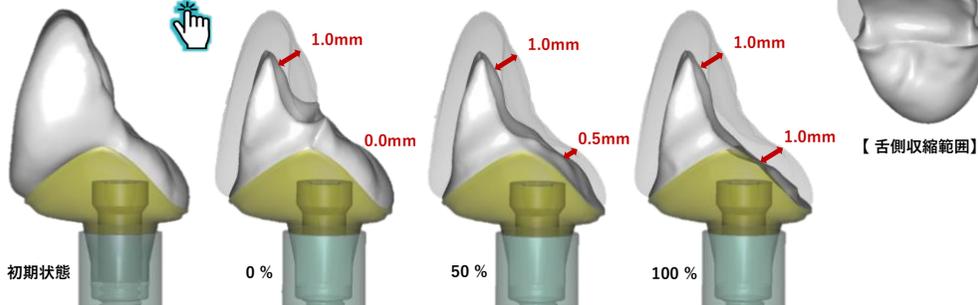
1. ①【収縮】の深さを設定します。
 2. ③【舌側収縮を抑制しますか?】項目の舌側収縮ゲージを調整し、舌側部のカットバック量を調整します。(0~100%)
 0: 舌側部はカットバックしません。
 舌側以外は①の深さに準じてカットバックします。
 50: ①の深さ量の50%カットバックします。
 100: ①の深さ量に準じて100%カットバックします。
- 【前歯にのみ適用】にチェックを入れると、白歯部には適用されず、前歯部のみ適用されます。
 チェックを外すと、白歯部にも適用します。(*図1)
3. ⑥デザイン終了後【適用】をクリックします。
 4. カットバックされます。

【舌側パーツを選択】

舌側収縮の設定

3 [舌側の収縮を抑制しますか?]
 舌側収縮 50 %
 前歯にのみ適用

図1

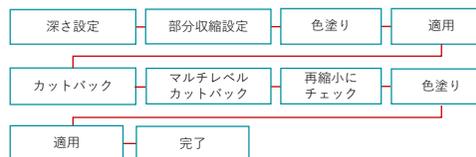


【パーシャルカットバック】

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

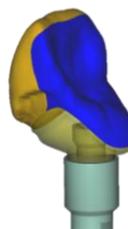
例) 前歯部唇側側の、ボディ部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合
 ボディー: 0.5mm
 切端: 1.0mm



1. 設定
 ・深さ
 ・部分収縮



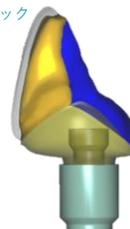
2. デザイン
 ・色塗り



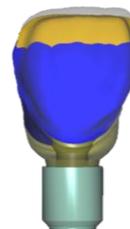
3. カットバック
 ・適用



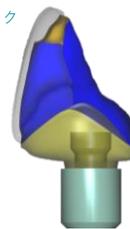
4. マルチレベル
 カットバック
 ・再縮小に
 チェック



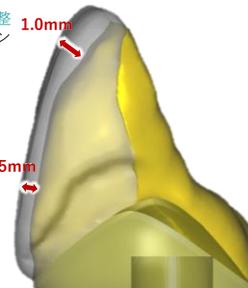
5. 追加デザイン
 ・色塗り



6. カットバック
 ・適用



自由形状で調整
 ・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

▼ マルチレベルカットバック...

縮小した形状を再縮小する

元に戻す

図2

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
2. ②【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. ④【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. ②部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【必要に応じてスキップできます】

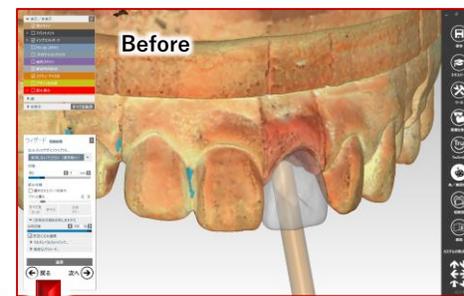
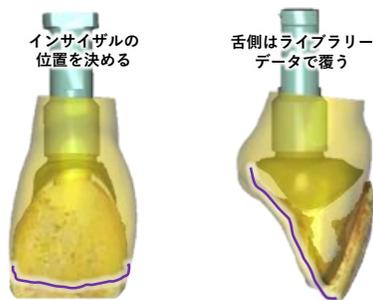
【マメロン形状のカットバックフレームをデザインします】

POINT ライブラリーの位置合わせ

挿入したライブラリーデータの位置から、マメロンのインサイザル計算がされます。歯の挿入項目の段階で、インサイザルの位置を合わせておく必要があります。

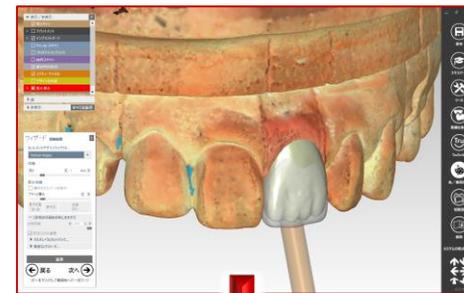
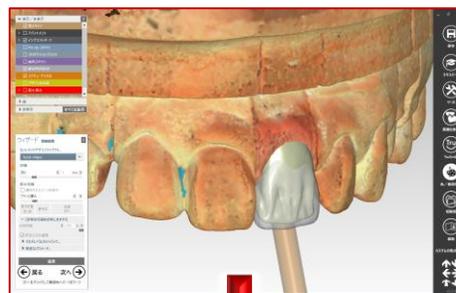
ワックスアップからデザインを行う場合、多くの場合で舌側部分のデザインは変更しないケースがほとんどです。ライブラリーデータがワックスアップデータよりも小さい場合、このカットバック機能は、ライブラリーデータに合わせますので、ワックスアップデータに合わなくなります。

舌側をワックスアップに合わせる場合は、あらかじめ、舌側をライブラリーデータが覆うように位置を設定しておく、処置前モデル(ワックスアップ)に合わせてきます。



【Facial-ridges】

【incisal-ridge】



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。



① 【カットバックデザインライブラリー】：マメロン形状のカットバック量を調整します。

【Facial-ridges】と【incisal-ridge】の2通りから選択し、② 適用ボタンからカットバックを行います。

POINT マメロンのカットバック

挿入したライブラリーデータの位置から、計算されます。歯の挿入項目の段階で、インサイザルの位置を合わせておく必要があります。

カットバックしたくない部位もカットバックされる場合があります。エキスパートモードから【処置前モデルの適用】や【部分収縮機能】を併せて使用することで、インサイザルカットバックのみを適用させることができます

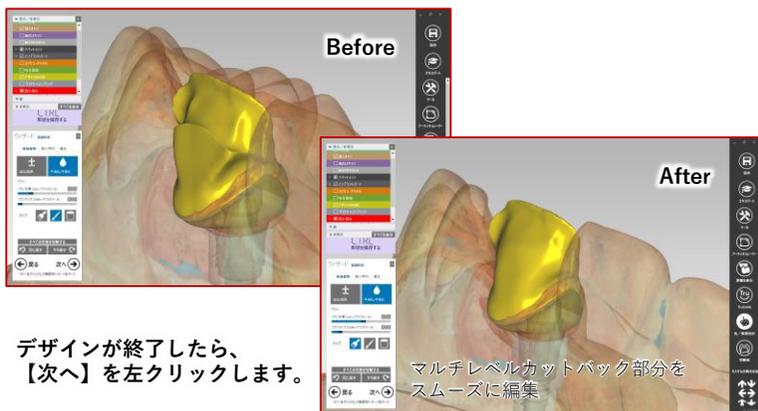


【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします
デザインの結合・完了

【フリーフォームデザイン】

クラウンの外形デザイン同様の操作で、カットバックフレームの自由変形デザインが可能です。必要に応じてデザインを行います。【必要に応じスキップできます】



デザインが終了したら、
【次へ】を左クリックします。

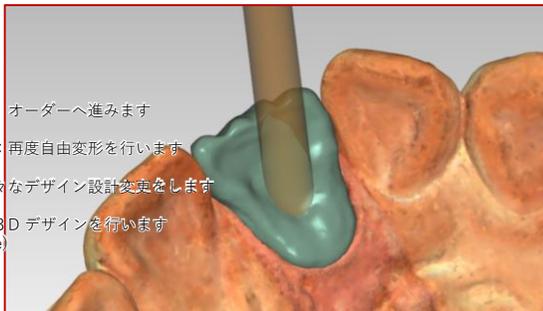
マルチレベルカットバック部分を
スムーズに編集

【デザインを結合します】

デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います

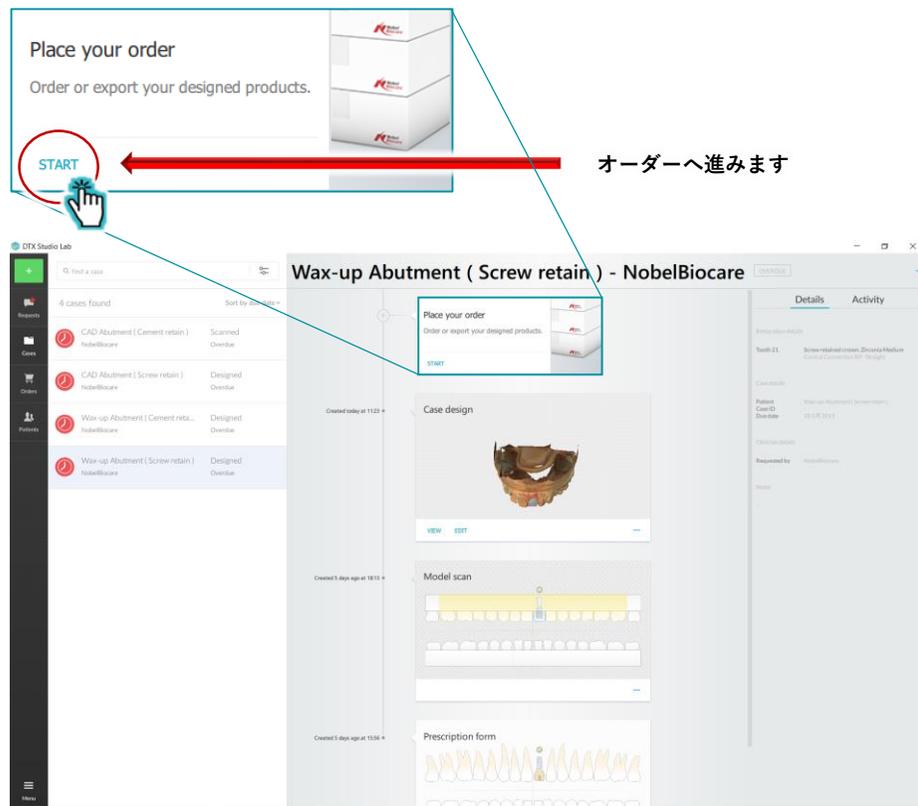


完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます
フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います
エキスパートモード：様々なデザイン設計変更をします
模型のデザイン：模型の3Dデザインを行います
(ModelCleator/要License)



【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・フラットファームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



Place your order
Order or export your designed products.

START

オーダーへ進みます

Wax-up Abutment (Screw retain) - NobelBiocare

Place your order
Order or export your designed products.

START



Model scan

Prescription form



GMT xx Nobel Biocare Services AG, 2019. All rights reserved. Distributed by: Nobel Biocare. DTX Studio, Nobel Biocare, the Nobel Biocare logotype and all other trademarks are, if nothing else is stated or is evident from the context in a certain case, trademarks of Nobel Biocare. Please refer to nobelbiocare.com/trademarks for more information. Product images are not necessarily to scale. Disclaimer: Some products may not be regulatory cleared/released for sale in all markets. Please contact the local sales office for current product assortment and availability. For prescription use only. Caution: Federal (United States) law restricts this device to sale by or on the order of a licensed dentist. See Instructions for Use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and precaution